

消 防 年 報

平成 16 年 版



(気仙沼市「霧の朝」)

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

(平成17年刊行)

~~~~~はしがき~~~~~

この年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成16年中の警防、予防、救急業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解頂ければ幸いです。

平成17年9月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿革	1
圏域管内図	11
位置及び管内情勢	12
組合組織図	13
庁舎・待機宿舎の位置	14
総務	
予算	
平成17年度当初歳入歳出予算	17・18
平成17年度当初組合消防費に係る性質別歳出の財源内訳	19
平成17年度当初構成市町の一般会計と消防予算	19
平成16年度（決算）構成市町分担金負担割合	19
決算	
平成16年度歳入歳出決算	20・21
職員	
職員配置状況	22
職員階級別勤続年数	23
職員階級別年齢	24
職員年齢構成図	25
学校等教育状況	26
職員特殊技能資格取得状況	27
予防	
防火対象物	
第17条対象物数	31
用途別消防用設備等の設置状況	32
用途別予防査察状況	33
用途別中高層建築物の現況	34
防火管理者を要する対象物	35
建築同意事務	36
危険物	
危険物施設	37
危険物施設の予防査察実施状況	38
危険物事務処理件数	39
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	40

防火管理者協会結成状況	40
幼年消防クラブ結成状況	41
少年消防クラブ結成状況	41
婦人防火クラブ結成状況	41
警 防	
消 防 車 両	
消防車両等の配置状況	45
消防車両等の配置現況	46
消防力の基準と現有	
消防本部・署所の人員	47
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	48
消 防 水 利	
管内水利状況	50
通 信	
通信施設の現況	53
消防テレホンサービス利用状況	53
119番受信件数	54
通 信 系 統 図	56
氣 象	
氣 象 統 計	57
気象情報等受信統計	58
管 内 消 防 団	
組 織 機 構 図	61
組 織	63
階級別消防団員数	63
年齢別消防団員数	63
在職年数別消防団員数	64
消防団員報酬	64
消防施設の現況	64
火災・救急統計	
火 灾 統 計	
火災件数及び損害額の推移	67
火災発生状況（市町別）	68
タ (観知別)	69
タ (月 別)	70
月別火災発生状況	72
曜日別火災発生状況	73

時間別火災発生状況	73
原因別火災発生状況・損害額	74
建物用途別火災発生状況(火元)	75
救急統計	
救急活動の推移	76
出場件数・搬送人員	77
市町別事故別活動状況	78
市町別出場件数	79
救急隊員が行った応急処置件数	80
事故種別出場件数	80
月別出場件数	81
時間別出場状況	81
曜日別搬送人員	82
傷病程度別搬送人員	83
年齢別搬送人員	84
医療機関別搬送人員	85
不搬送等状況・診療科目別搬送人員・転送回数別搬送人員・覚知別出場件数	86
普通救命講習受講者状況	86
防災センター	
防災センターの概要	89
月・地域別利用状況	90
月・曜日別利用状況	91
利用者別状況	92
主な備蓄品	92

沿革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定受ける。
8月2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
タ	初代消防長に加藤留七氏就任。
タ	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員55人を任用、18人新規採用。(消防職員定数 155人)
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定(郡内5町)を受ける。
8月4日	消防職員16人を採用。
12月1日	広域消防の業務開始。(1本部、2消防署、1分署、4出張所)
12月4日	消防職員15人を採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。(石巻、塩釜、登米、大崎の各広域消防本部)
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車1台配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。(岩手県両磐地区、陸前高田市の各消防本部)
3月25日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月2日	消防職員21人を採用。
4月18日	消防本部消防次長(故)熊谷孝喜氏 正七位勲六等単光旭日章に叙される。
4月24日	気仙沼・本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定(郡内5町)を受ける。
7月19日	干害対策本部を設置。
8月2日	消防職員14人を採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車1台を配置。
10月1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月2日	消防職員(船舶職員)3人を採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。(昭和12年建設、昭和60年撤去)
4月4日	消防職員10人を採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
4月16日	消防艇「あさぎり」配置。
7月30日	第1回消防職員技術大会実施。(以後毎年実施)
12月5日	志津川町防火管理者協会結成。

昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。
6月 2日	消防職員1人を採用。
6月10日	昭和50年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員1人を採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第2代消防長に村上栄氏就任。
11月13日	「第8なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命捜索救助活動を行う。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員2人を派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊を結成。(隊員25人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署と志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車を更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員3人を採用。
4月 3日	消防本部と志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
4月26日	第1回消防職員意見発表東北大会(青森市)において菅野優消防士優秀賞を受賞。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第7回全国消防救助技術大会(千葉市)において水中検索の部に高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5ha)
	管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部指令車を更新配置。
4月26日	昭和54年宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田東山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モータースから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を更新配置。
タ	気仙沼消防署に屈折梯子車を配置。
昭和55年 5月29日	第3回全国消防職員意見発表大会(東京都)において錦部照夫消防士長最優秀賞を受賞。

6月1日	志津川町、歌津町及び津山町の消防職員待機宿舎完成。
6月10日	消防本部に査察車を更新配置。
8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月1日	昭和55年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車を配置。
10月1日	第3代消防長に畠山誠氏就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会設立。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月4日	消防職員4人を採用。
6月4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼・本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。(1市5町)
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車を更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年2月25日	唐桑町の消防職員待機宿舎完成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車を更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を配置。
4月1日	第4代消防長に川合昭伍氏就任。
々	消防職員3人を採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第11豊洋号」(ブンヤン号)においてアンモニアガス噴出事故発生。死者8人、負傷者6人。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第25回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
々	昭和57年4月11日に発生した、「第11豊洋号」アンモニア噴出事故で救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、宮城県知事から「顕彰状」が授与された。 団体 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 個人 菊田國夫消防司令補、佐藤誠悦消防士、芳賀保宏消防士、森浩一消防士
7月30日	同じく上記事由により職員及び団体に対し(財)日本消防協会会長から「現場功労章」が授与された。
8月24日	同じく上記事由により職員及び団体に対し(財)宮城県消防協会会長から「功労章」が授与された。
々	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月1日	昭和57年4月11日に発生した、「第11豊洋号」アンモニア噴出事故で救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、消防庁長官から「功績章」が授与された。 団体 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 個人 菊田國夫消防司令補、佐藤誠悦消防士、芳賀保宏消防士、森浩一消防士

9月9日	「救急の日」制定。
12月1日	気仙沼消防署に照明電源車を配置。
昭和58年1月30日	志津川消防署に救急自動車を更新配置。
3月9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。
3月30日	本吉町の消防職員待機宿舎落成。
6月2日	第6回全国消防職員意見発表大会(京都府)において芳賀保宏消防士優秀賞を受賞。
8月11日	初代消防長（故）加藤留七氏 従六位勲五等瑞宝章に叙される。
9月1日	昭和57年4月11日に発生した、「第11豊洋号」アンモニア噴出事故に係る救助活動の功労により、広域消防本部に対し内閣総理大臣から昭和58年度「防災功労章」が授与された。
昭和59年3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月1日	消防職員3人を採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。
11月8日	元消防職員 蒼野孝一氏 勳六等瑞宝章に叙される。
12月4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年2月8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
2月15日	異常気象（厳冬による消防水利確保困難）のため「火災警報」を発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車を配置。
4月1日	消防職員3人を採用。
6月1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月1日	消防衛生管理規程を制定。
8月19日	異常渴水のため消防対策本部を設置。（9月2日まで継続）
8月23日	第14回全国消防救助技術大会（広島市）において伊藤大志消防士ロープ登はんの部で入賞。
8月26日	（財）日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月8日	第32回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月25日	産業医（猪苗代勇医師）を嘱託。
11月27日	第1回「火災予防キャンペーン」実施。（以後毎年実施）
12月18日	国道45号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。（以後隔年実施）
昭和61年1月6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月8日	「消防表彰式」を創設。（以後毎年実施）
3月10日	（財）日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月1日	消防職員2人を採用。
8月5日	台風10号くずれの低気圧により宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェア」を開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車を更新配置。
タ	広域組合消防計画書を策定。

昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」を発令。
5月15日	異常渴水のため消防対策本部を設置。
5月28日	第10回全国消防職員意見発表大会（横浜市）において佐藤武敏消防士長入賞。
8月1日	広域組合消防安全管理規程を制定。
8月12日	志津川町で第30回宮城県消防操法大会を開催。
9月1日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車を更新配置。
11月9日	「119番の日」制定。
11月17日	(株)アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立30周年記念式典の開催。
昭和63年 4月1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。(計8人研修)
6月4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第17回全国消防救助技術大会（横浜市）において伊藤大志消防士ロープブリッジ渡過の部で入賞。
10月7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。
平成元年 1月29日	4週6休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月1日	消防職員高齢化対策で職員2人を気仙沼市へ研修派遣。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市太田放牧地において実施。
8月8日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(8名研修)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成2年 2月21日	広域組合の休日を定める条例を制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で気仙沼市へ研修派遣中の職員2人退職。 (4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月1日	消防職員3人を採用。
〃	消防職員高齢化対策で職員1人を気仙沼市へ研修派遣。
4月26日	第13回全国消防長会東北支部意見発表大会（新潟市）において森淳一消防士長優秀賞を受賞。
5月17日	第41回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
6月3日	元消防署長（故）佐藤継雄氏 従六位勲五等瑞宝章に叙される。
7月6日	第15回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
7月19日	元消防職員（故）小山光雄氏 従七位勲六等瑞宝章に叙される。
8月24日	第19回全国消防救助技術大会（広島市）において志津川消防署ロープブリッジ救出の部で入賞。
9月1日	9.1宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成3年 2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。

3月31日	消防職員高齢化対策で気仙沼市へ研修派遣中の職員1人退職。 (4月1日付で気仙沼市へ身分移管)	
4月1日	第5代消防長に若杉市郎氏就任。	
タ	消防職員2人を採用。	
タ	消防職員高齢化対策で唐桑町・本吉町・津山町へ職員各1人研修派遣。 財日本消防協会へ1人を研修派遣。	
タ	第20回全国消防救助技術大会(大阪府)において伊藤大志消防士ロープブリッジ渡過の部で入賞。	
8月28日	9月9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月1日	消防職員高齢化対策で職員1人を広域組合に研修派遣。	
タ	宮城県防災ヘリコプター航空隊に職員1名派遣。	
12月9日	気仙沼消防署・本吉分署・志津川消防署・津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。	
平成4年3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー仰転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊(第22普通科連隊)が災害復旧活動に従事。(4月14日対策本部解散)	
3月31日	志津川消防署、気仙沼消防署本吉分署に指令車と査察車を更新配置。	
タ	消防職員高齢化対策で、広域組合・唐桑町・本吉町・津山町へ研修派遣の職員4人退職。(4月1日付で研修派遣先へ身分移管)	
4月1日	消防職員4人を採用。	
4月1日	消防職員高齢化対策で職員1人志津川町へ研修派遣。	
タ	宮城県広域航空消防応援協定締結。	
5月1日	「大川油流出事故」災害復旧活動の功績により気仙沼市長から広域消防本部に「感謝状」が授与された。	
8月28日	第21回全国消防救助技術大会(千葉市)において伊藤大志消防士ロープブリッジ渡過の部で入賞。	
9月4日	財日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。	
10月21日	第8回全国婦人消防操法大会(横浜市)において津山町婦人消防隊が準優勝。	
10月30日	「広域組合設立・広域消防発足20周年記念式典」を開催。浅野大三郎消防庁長官が記念講演。	
平成5年2月1日	4週8休実施。	
2月8日	気仙沼三菱自動車販売(株)より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。	
3月31日	消防職員高齢化対策で志津川町へ研修派遣の職員1人退職。 (4月1日付で志津川町へ身分移管)	
4月1日	消防職員1人を採用。	
タ	消防職員定数を187人に改正。	
4月18日	津山町で大規模林野火災発生(10ha焼失)管内消防団の応援を受ける。	
10月26日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成。	
平成6年1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。	

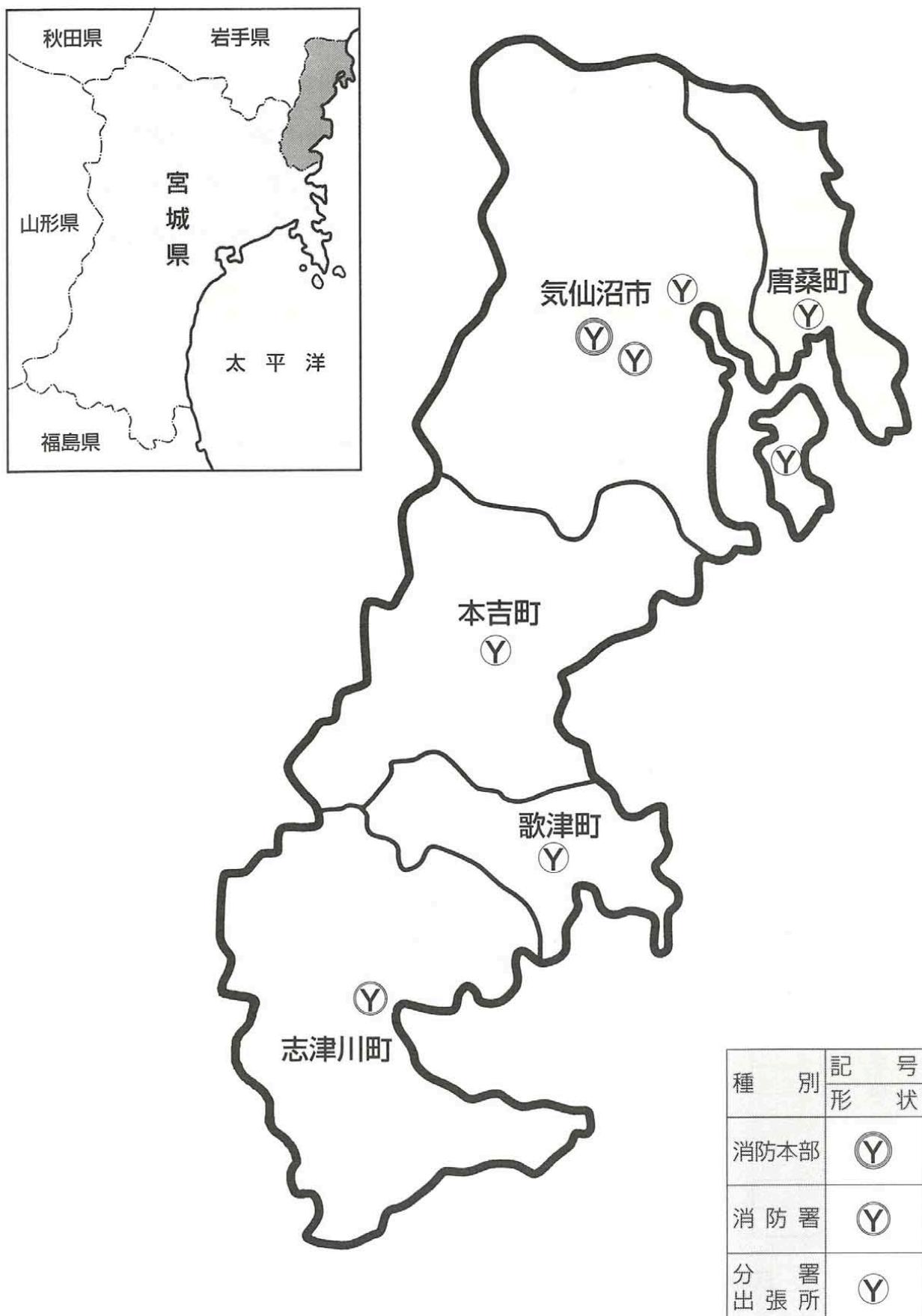
2月1日	消防本部・気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式（119番統合）。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付（全員併任発令）。
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員8人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月1日	消防職員7人を採用。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
5月25日	救急救命士国家試験（1人）合格。
8月12日	異常渴水による消防対策本部設置（8月22日まで）。
9月30日	（財）日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第50回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者10,000人達成。
平成7年3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月1日	消防本部に通信指令室を設け通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
4月1日	消防職員8人採用。
4月25日	救急救命士国家試験（2人）合格。
5月9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者149人。
7月14日	広域防災センター入館者20,000人達成。
8月5日	警防課長（故）伊藤哲夫氏 正七位勲六等単光旭日章に叙される。
8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第24回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署引揚救助の部で入賞。
11月2日	救急救命士国家試験（1人）合格。
11月10日	第2代消防長（故）村上栄氏 従六位勲六等単光旭日章に叙される。
12月1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
平成8年4月1日	第6代消防長に熊谷昭一氏就任。
〃	消防職員7人採用。
4月9日	元消防職員（故）宮井義郎氏 正七位勲六等瑞宝章に叙される。
4月25日	救急救命士国家試験（1人）合格。
5月26日	広域防災センター入館者30,000人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
11月13日	救急救命士国家試験（1人）合格。
12月11日	第1回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第1回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加。（於 仙台市 20日まで）

平成9年1月8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月3日	気仙沼消防署待機宿舎移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者40,000人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月1日	第7代消防長に藤原博氏就任。
々	消防職員6人採用。
々	給与振込開始。
4月24日	救急救命士国家試験（1人）合格。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車を更新、多機能型広報車を配置。
9月27日	元気仙沼消防署副署長（故）吉田謙一氏 従七位勲六等瑞宝章を叙される。
10月24日	救急救命士国家試験（1人）合格。
平成10年2月8日	広域防災センター入館者50,000人達成。
3月1日	自動車電話・携帯電話119番受付業務を開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置。
4月1日	消防職員6人採用。
4月17日	救急救命士国家試験（1人）合格。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
9月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎建設設計業務及び地質調査業務委託入札。
10月30日	救急救命士国家試験（1人）合格
12月7日	広域防災センター入館者60,000人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2B型）配置。
平成11年1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD-II型）配置。
4月1日	消防職員5人採用。
々	消防職員定数を197人に改正。
4月29日	第3代消防長畠山誠氏 勲五等瑞宝章に叙される。
5月13日	第59回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
9月30日	水難救助用資機材を気仙沼消防署に配備。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
11月24日	救急救命士国家試験（1人）合格。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦2000年問題に伴う警戒。
平成12年3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航（19t）。
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者70,000人達成。
4月1日	消防職員5人採用。
々	権限移譲事務の開始。（煙火消費の許可事務、建設用びょう打ち銃用空砲許可事務、液化石油ガスの設備工事に関する事務）
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
5月2日	救急救命士国家試験（1人）合格。
7月7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。

7月25日	第41回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
12月4日	救急救命士国家試験（2人）合格。
平成13年3月31日	広域防災センター入館者80,000人達成。
4月1日	消防職員6人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24時間運航開始。
5月7日	救急救命士国家試験（1人）合格。
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い、地震・津波対策検討委員会の設置。
9月～10月	第56回宮城県国民体育大会（夏季・秋季）実施。（柔道・9人制バレー・ボーラー）
11月13日	救急救命士国家試験（2人）合格。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署、本吉分署、志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急車配置。
平成14年4月1日	第8代消防長に菊田清一氏就任。
〃	消防職員5名採用。
4月17日	平成14年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
4月29日	第4代消防長川合昭伍氏 熱五等双光旭日章に叙される。
5月8日	救急救命士国家試験（1人）合格。
〃	広域防災センター入館90,000人達成。
10月1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留業務開始。
10月9日	組合設立及び広域消防発足30周年記念式典。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車（CD-I型）配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）配置。
平成15年2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
3月11日	救急業務の高度化を目的として、気仙沼地域メディカルコントロール協議会を設立。
3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急車配置。
4月1日	消防職員3人採用。
4月23日	救急救命士国家試験（2人）合格。
5月14日	広域防災センター入館100,000人達成。
5月26日	三陸南地震。（18時24分発生） 震源地…宮城県沖 震源の深さ…70km 地震の規模…M7.0 計測震度 震度5強（気仙沼市、志津川町、唐桑町、歌津町） 震度5弱（本吉町） 震度4（津山町）
7月26日	宮城県北部連続地震。 ①0時13分 震源地…宮城県北部 震源の深さ…ごく浅い 地震の規模…M5.6 計測震度 震度4（歌津町、志津川町、津山町） 震度3（気仙沼市、唐桑町） 震度2（本吉町）

7月26日	<p>②7時13分 震源地…宮城県北部 震源の深さ…約10km 地震の規模…M6.2 計測震度 震度4（気仙沼市、歌津町、志津川町、津山町） 震度3（唐桑町、本吉町）</p> <p>③10時22分 震源地…宮城県北部 震源の深さ…約10km 地震の規模…M5.1 計測震度 震度3（気仙沼市） 震度2（唐桑町、志津川町、津山町） 震度1（本吉町）</p>
10月23日	第68回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月14日	救急救命士国家試験（1人）合格。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（B D-I型）配置。
12月8日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（C D-I型）配置。
平成16年1月8日	平成15年7月26日に発生した宮城県北部地震での現地活動に対し、消防庁長官功労章を受章。
4月1日	消防職員3人採用。
4月27日	救急救命士国家試験（1人）合格。
々	第27回全国消防長会東北支部消防職員意見発表大会（新潟市）において阿部利彦消防士優秀賞を受賞。
9月1日	平成16年度9.1宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
々	緊急通報FAX受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館110,000人達成
10月20日	元消防職員（故）村上賢吾氏 正七位瑞宝双光章に叙される。
11月11日	救急救命士国家試験（2人）合格。
平成17年1月27日	宮城県消防長会幹部研修会において吉田東消防司令の「新潟県中越地震体験」講話が行われた。
3月31日	登米市（4月1日）への身分移管に伴う職員10名退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月20日	救急救命士国家試験（1人）合格。現在23名。
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練を実施。
8月16日	8.16宮城県沖地震（11時46分発生）。 震源地……宮城県沖 震源の深さ……42km 地震の規模……M7.2 計測震度…震度5弱（気仙沼市・志津川町・歌津町） 震度4（本吉町・唐桑町）

圈域管内図



位置及び管内情勢

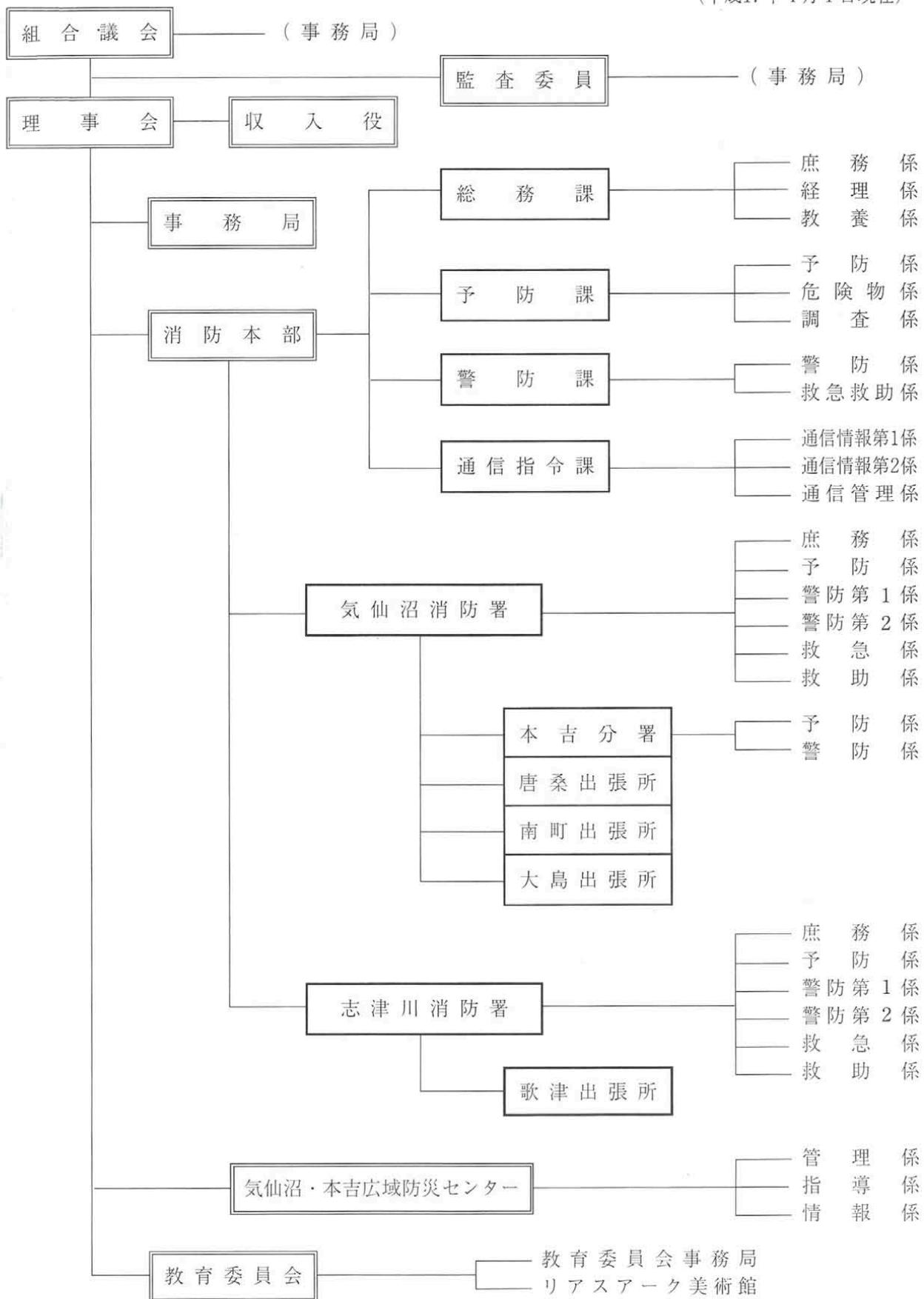
気仙沼・本吉地域は、気仙沼市・唐桑町・本吉町・志津川町・歌津町の1市4町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、陸中海岸国立公園、南三陸金華山国定公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(平成17年4月1日現在)

市町名	面積(km ²)	世帯数(世帯)	人口(人)
気仙沼市	184.35	20,534	59,329
唐桑町	42.31	2,278	8,413
本吉町	106.70	3,476	11,907
志津川町	124.25	3,915	13,699
歌津町	39.48	1,434	5,572
合計	497.09	31,637	98,920

組合組織図

(平成17年4月1日現在)



庁舎位置

(平成17年4月1日現在)

本部・署所	所在地	敷地面積(m ²)	構造	面積(m ²)	竣工
消防本部	〒988-0104 気仙沼市字赤岩五駄舡43-2	6,225.0	鉄筋コンクリート 3階建	建 1,700.3 延 2,981.4	平 5.10
気仙沼消防署 南町出張所	〒988-0017 気仙沼市南町4丁目1-9	591.77	鉄筋コンクリート 一部鉄骨3階建	建 279.63 延 814.43	昭35. 6 51.5増築
気仙沼消防署 大島出張所	〒988-0604 気仙沼市字廻館113-1	429.70	木造1階建	建 110.97 延 110.97	昭54. 3
気仙沼消防署 唐桑出張所	〒988-0535 本吉郡唐桑町字馬場183-4	693.00	鉄筋コンクリート 1階建	建 179.80 延 179.80	昭48. 1
気仙沼消防署 本吉分署	〒988-0309 本吉郡本吉町津谷松尾1-1	700.80	鉄筋コンクリート 2階建	建 208.25 延 314.50	昭48. 1
志津川消防署	〒986-0768 本吉郡志津川町御前下59-2	2,904.00	鉄筋コンクリート 2階建	建 192.00 延 384.00	昭47.12
志津川消防署 歌津出張所	〒988-0453 本吉郡歌津町字伊里前233-3	1,132.69	鉄骨2階建	建 479.39 延 679.39	平12. 3

待機宿舎位置

(平成17年4月1日現在)

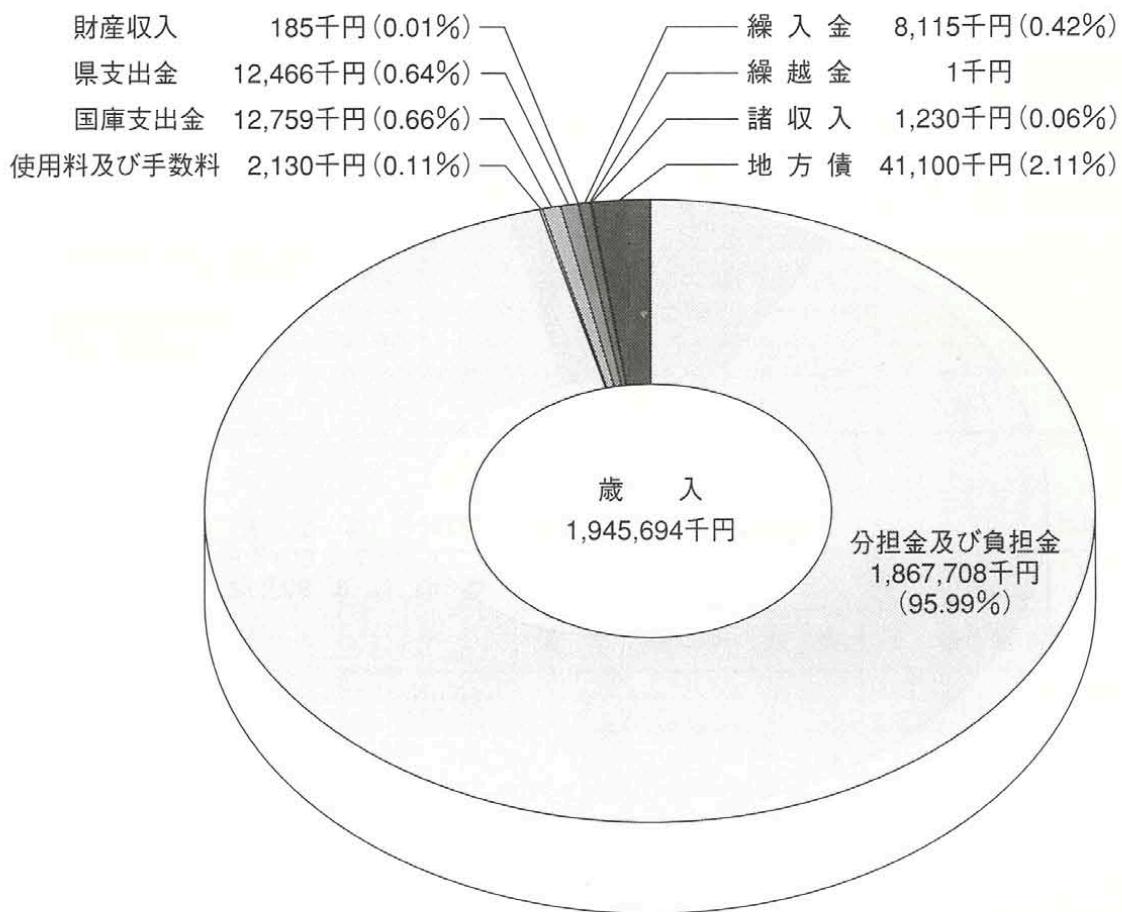
所在地	室数	構造	面積(m ²)	竣工
〒988-0171 気仙沼市字赤岩牧沢44-114	単身用4室	木造1階建	115.93	平 9. 3
〒988-0535 本吉郡唐桑町字馬場189-1	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	99.84	昭57. 2
〒988-0309 本吉郡本吉町津谷松尾69-5	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	100.00	昭58. 3
〒986-0776 本吉郡志津川町字竹川原47-4	世帯用6室	鉄骨耐火構造2階建	297.61	昭55. 3
〒988-0455 本吉郡歌津町字吉野沢61-162	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	99.84	昭53. 3

予 防



はたらく消防の写生会 最優秀賞 本吉町立大谷小学校 4年 小山菜摘

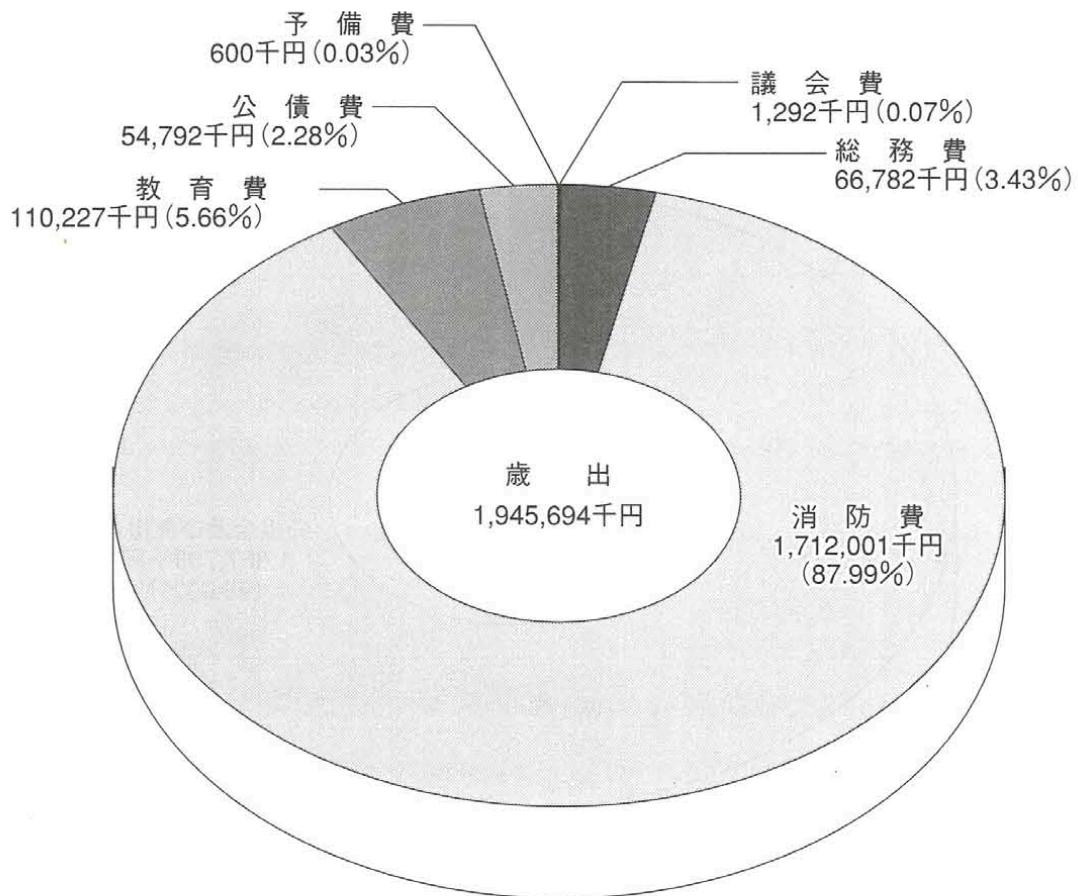
平成17年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	平成17年度予算額	平成16年度予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,867,708	1,994,669	△126,961
使 用 料 及 び 手 数 料	2,130	2,310	△ 180
国 庫 支 出 金	12,759	0	12,759
県 支 出 金	12,466	11,337	1,129
財 产 収 入	185	190	△ 5
縱 入 金	8,115	5,597	2,518
縱 越 金	1	1	0
諸 収 入	1,230	1,040	190
地 方 債	41,100	0	41,100
合 計	1,945,694	2,015,144	△ 69,450

平成17年度当初歳出予算



(単位：千円)

科目	平成17年度予算額	平成16年度予算額	比較
議会費	1,292	1,570	△ 278
総務費	66,782	66,173	609
消防費	1,712,001	1,746,452	△ 34,451
教育費	110,227	114,688	△ 4,461
公債費	54,792	85,561	△ 30,769
予備費	600	700	△ 100
合計	1,945,694	2,015,144	△ 69,450

平成17年度（当初）組合消防費に係る性質別歳出の財源内訳

(単位：千円)

区分	予算額	財源内訳			
		国・県支出金	組合債	その他	一般財源
人件費	1,562,789	7,715		969	1,554,105
物件費	63,973	1,164		1,012	61,797
維持補修費	4,761				4,761
補助費等	11,392				11,392
普通建設事業費	69,686	16,346	41,100		12,240
公債費	54,792				54,792
合計	1,767,393	25,225	41,100	1,981	1,699,087

平成17年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算

(単位：千円)

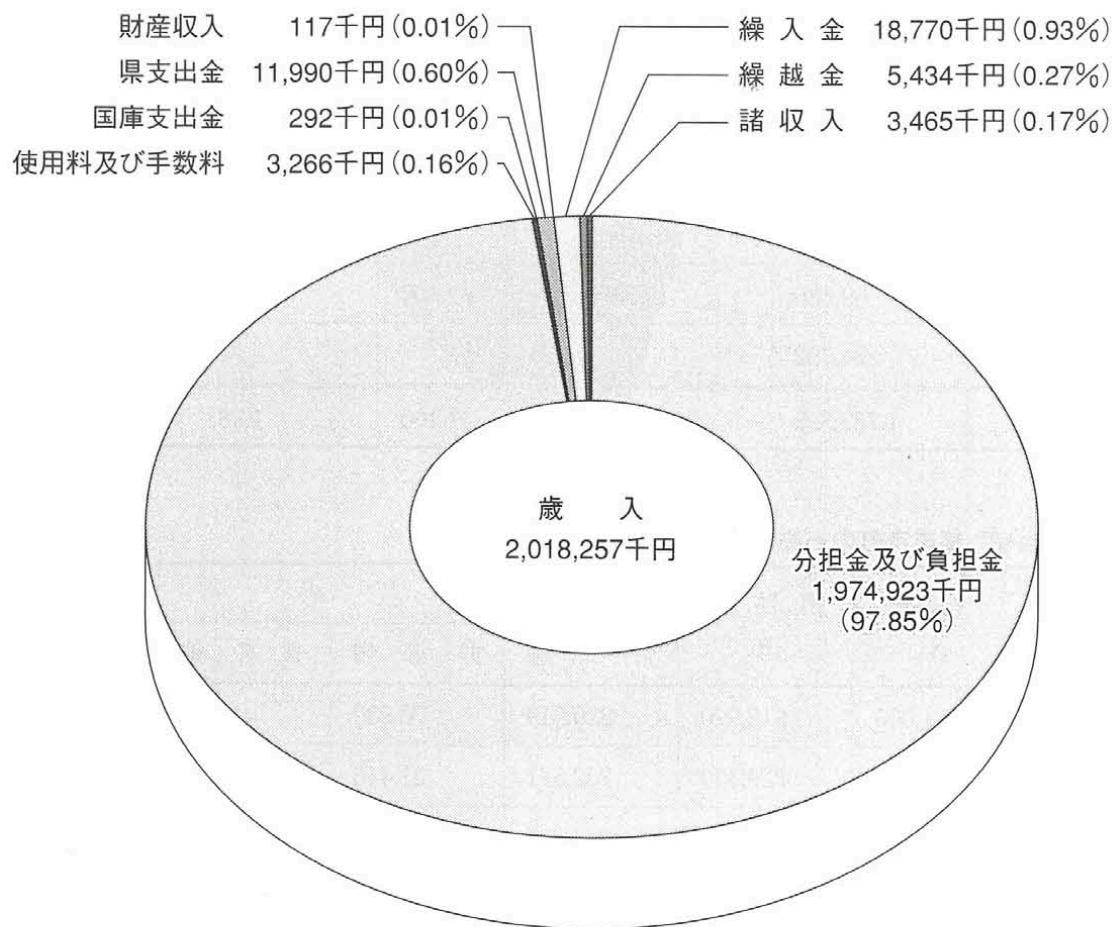
区分	一般会計 A	消防費 B	内訳			割合 B/A (%)
			常備	非常備	その他	
気仙沼市	17,781,000	912,990	820,319	76,530	16,141	5.1
志津川町	5,936,593	329,403	282,571	31,416	15,416	5.5
本吉町	4,484,000	318,081	254,899	24,594	38,588	7.1
唐桑町	2,776,000	209,916	187,805	11,115	10,996	7.6
歌津町	2,670,000	247,077	149,598	21,542	75,937	9.3
合計	33,647,593	2,017,467	1,695,192	165,197	157,078	6.0

平成16年度（決算）構成市町分担金負担割合

(単位：千円)

区分	消防費基準財政需要額		消防費負担金	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
気仙沼市	709,474	47.5	794,743	44.13
志津川町	227,264	15.2	281,220	15.62
津山町	97,772	6.5	126,813	7.04
本吉町	201,917	13.5	256,897	14.27
唐桑町	149,720	10.0	193,804	10.76
歌津町	109,318	7.3	147,395	8.18
合計	1,495,465	100.0	1,800,872	100.0

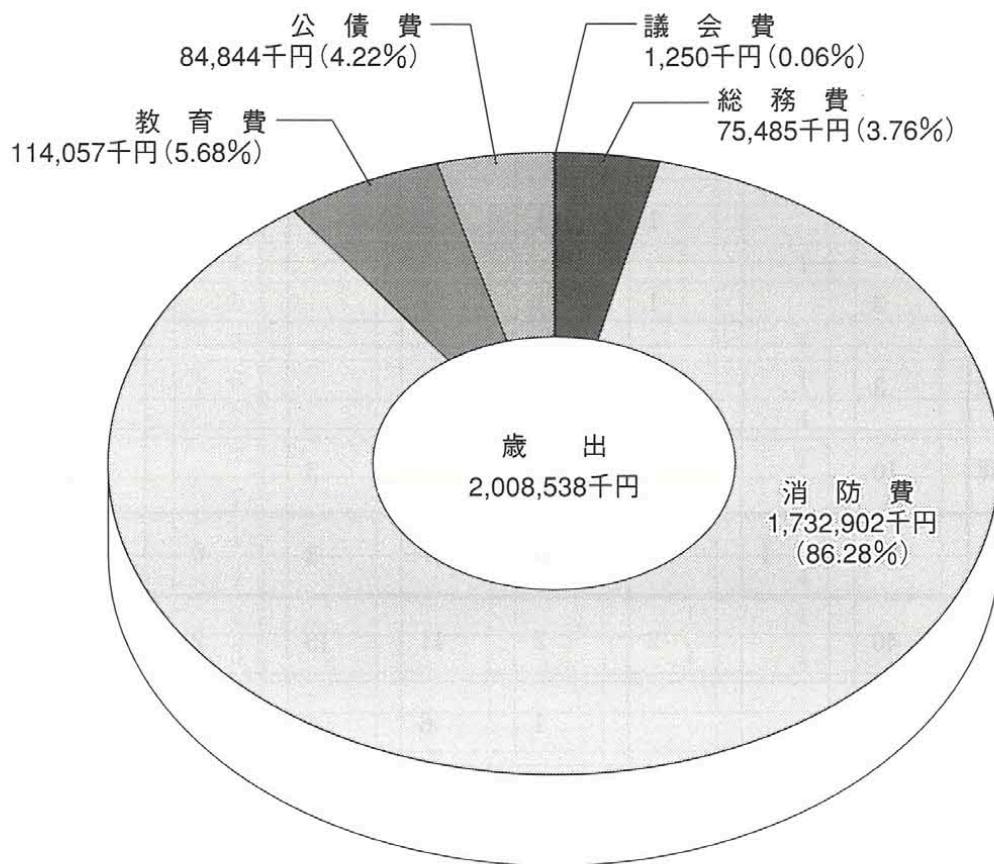
平成16年度歳入決算



(単位:千円)

科 目	平成16年度予算額(最終)	平成16年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,974,923	1,974,923	0
使 用 料 及 び 手 数 料	2,310	3,266	956
国 庫 支 出 金	354	292	△ 62
県 支 出 金	11,976	11,990	14
財 产 収 入	119	117	△ 2
繰 入 金	19,291	18,770	△ 521
繰 越 金	5,434	5,434	0
諸 収 入	2,790	3,465	675
合 計	2,017,197	2,018,257	1,060

平成16年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	平成16年度予算額(最終)	平成16年度決算額	比 較
議 会 費	1,435	1,250	△ 185
総 務 費	77,053	75,485	△ 1,568
消 防 費	1,737,926	1,732,902	△ 5,024
教 育 費	114,522	114,057	△ 465
公 債 費	85,561	84,844	△ 717
予 備 費	700	0	△ 700
合 計	2,017,197	2,008,538	△ 8,659

消防職員配置状況

(平成17年4月1日現在)

区分		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
消防本部	消防長	1	1							
	次長	1		1						
	総務課	5		1	1	2				1
	警防課	3		1	1	1				
	予防課	3		1	1	1				
	通信指令課	10		1	3	3	3			
	小計	22	1	5	6	7	3	0	0	1
気仙沼消防署管内	気仙沼消防署	40		2	2	11	13	2	10	
	本吉分署	20			1	6	9	2	2	
	南町出張所	16				5	6	4	1	
	大島出張所	17			1	2	10		4	
	唐桑出張所	17			1	5	5	1	5	
	小計	110	0	2	5	29	43	9	22	0
志津川消防署管内	志津川消防署	32		1	3	6	11	1	10	
	歌津出張所	17			1	3	8	1	4	
	小計	49	0	1	4	9	19	2	14	0
合計		182	1	8	15	45	65	11	36	1

総務課には、気仙沼消防署出向者1名を含む。

気仙沼消防署には、宮城県防災ヘリコプター隊員1名を含む。

唐桑出張所には、宮城県消防学校派遣各1名を含む。

歌津出張所には、救急救命東京研修所派遣1名を含む。

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消防職員階級別勤続年数

(平成17年4月1日現在)

階級 勤続年数	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	22.1	37.0	36.4	32.6	26.9	22.7	30.5	5.2	1.0
合 計	182	1	8	15	45	65	11	36	1
1 年 未 満									
1 年 以 上	4							3	1
2 ヵ	3							3	
3 ヵ	4							4	
4 ヵ	6							6	
5 ヵ	4					1		3	
6 ヵ	5							5	
7 ヵ	6					1		5	
8 ヵ	6				2	1		3	
9 ヵ	7					4		3	
10 ヵ	7					7			
11 ヵ	7					7			
12 ヵ	1							1	
13 ヵ	4						4		
14 ヵ	2				1	1			
15 ヵ	3				1	1	1		
16 ヵ									
17 ヵ									
18 ヵ									
19 ヵ	2				1	1			
20 ヵ	3					3			
21 ヵ	3					3			
22 ヵ									
23 ヵ	3					3			
24 ヵ	3					2	1		
25 ヵ									
26 ヵ									
27 ヵ	3					3			
28 ヵ									
29 ヵ	2					1	1		
30 ヵ	8					2	4	2	
31 ヵ	29			3	8	17	1		
32 ヵ	23			5	9	7	2		
33 ヵ	17		1	4	5	3	4		
34 ヵ	3		1	1			1		
35 ヵ	5		2	2			1		
36 ヵ	2	1	1				1		
37 ヵ	2				1				
38 ヵ									
39 ヵ	4		2				2		
40 ヵ	1		1						

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消防職員階級別年齢

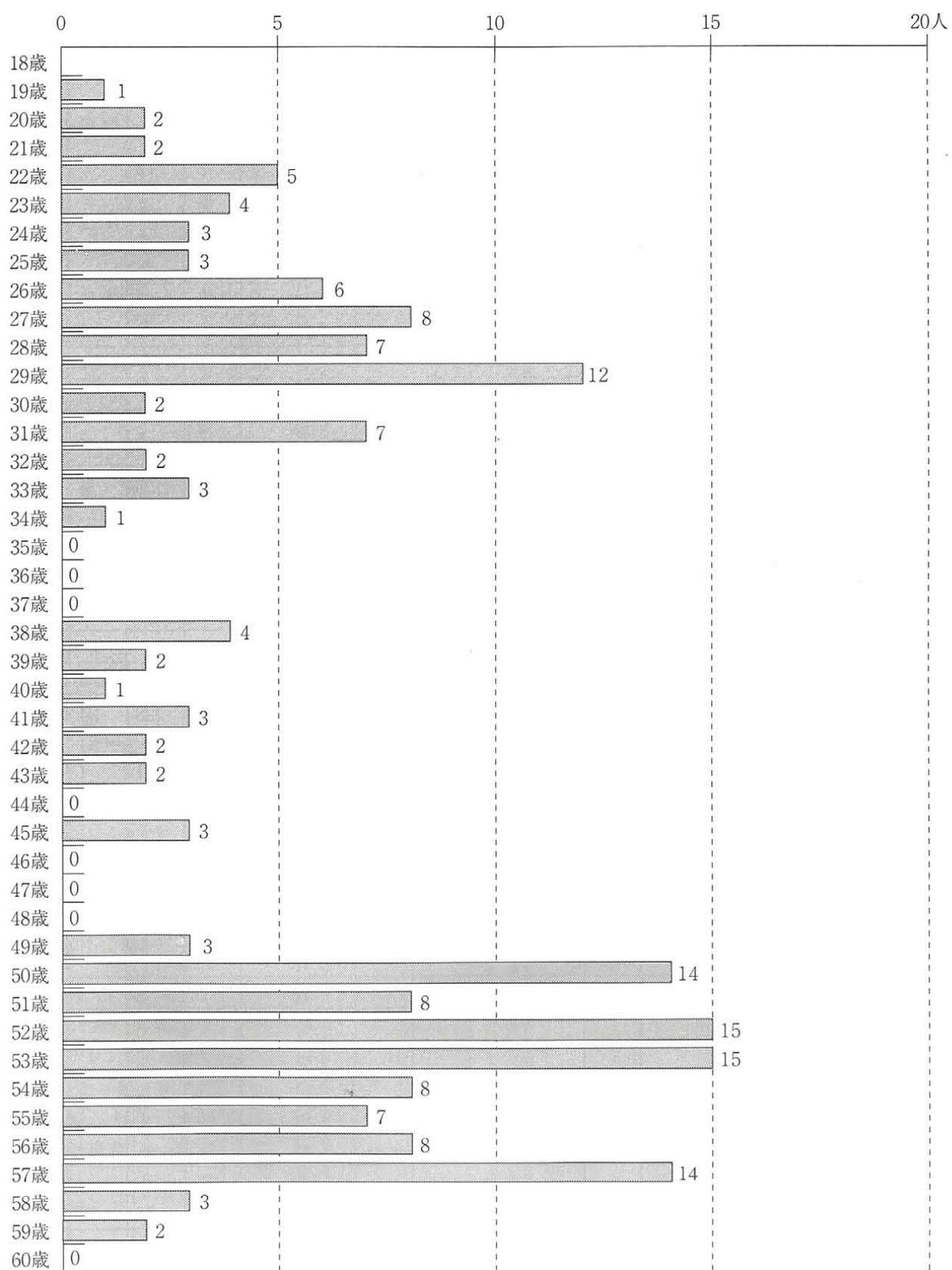
(平成17年4月1日現在)

年齢	階級	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員
平均年齢		42.4	57.0	55.9	53.9	47.1	43.1	51.5	25.0	22.0
合計		182	1	8	15	45	65	11	36	1
18歳										
19歳		1								1
20歳		2								2
21歳		2								2
22歳		5								4 1
23歳		4								4
24歳		3								3
25歳		3					1			2
26歳		6					1			5
27歳		8					3			5
28歳		7					3			4
29歳		12					11			1
30歳		2					1			1
31歳		7				2	3			2
32歳		2				1	1	1		
33歳		3					2			
34歳		1					1			
35歳										
36歳										
37歳										
38歳		4				4				
39歳		2				2				
40歳		1					1			
41歳		3				3				
42歳		2				2				
43歳		2				2				
44歳										
45歳		3				2	1			
46歳										
47歳										
48歳										
49歳		3					2	1		
50歳		14				9	5			
51歳		8			1	3	4			
52歳		15		1	4	5	3	2		
53歳		15			4	2	5	4		
54歳		8		2		1	4	1		
55歳		7			2	4	1			
56歳		8		1		3	4			
57歳		14	1	2	4		6	1		
58歳		3		1			1	1		
59歳		2		1			1			
60歳										

広域組合事務局出向者1名は含まない。

消防職員年齢構成図

(平成17年4月1日現在)



学校等教育状況(過去10年)

種別	年度	平成	15	14	13	12	11	10	9	8	7	計
		16										
宮城県消防学校	初任総合教育	3	3	5	6	5	5	6	6	7	8	54
	警防科		2									2
	火災調査科	1		2		2				2		7
	予防査察科	1	2		2			2	2		2	11
	危険物科			2				2				4
	救助助科					4	6	5	2	2	2	21
	標準課程					6	8	8	8	8	5	43
	救急科									5	5	10
	II課程											
	小計	8	10	12	10	19	21	27	22	28	24	181
消防大学校	初級幹部科		2		2		2		2	2	2	12
	中級幹部科	1		2		2		2	2	2		11
	はしご自動車操作講習科			1				2				3
	気管挿管講習	2	1									3
	小計	2	1	2	1	2	1	1	1	2	2	15
	本科	1		1		1				1	1	5
救急救命士	幹部研修科		1	1		1			1			4
	予防科							1			1	2
	警防科	1			1		1					3
	救助助科									1		1
	小計	2	1	2	1	2	1	1	1	2	2	15
救急救命士	救急救命東京研修所	2	1	2	2	2	2	1	2	1	2	17
	上記以外の研修所等	東消1	東消1		東消1	東消1				仙消1		5
合計		13	13	16	14	24	24	29	25	32	28	218

職員特殊技能資格取得状況

(平成17年4月1日現在)

種 別	階 級 消防吏員數	総 数	消防司令長 以 上	消防司令	消 防 司 令 補	消防士長	消 防 副 士 長	消 防 士
		182	9	15	45	66	11	36
大型免許	2 種	6			2	3		1
	1 種	84	2	8	25	33	8	8
	特 殊	4			1	1	1	1
	けん引	7	1	1	2	3		
普通免許	2 種	1			1			
	1 種	182	9	15	45	66	11	36
自動二輪	小 型	1	1					
	中 型	25			12	8	1	4
	大 型	63	6	10	20	20	6	1
整備管理者		4	1	2	1			
救急救命士		22		1	10	7	1	3
潜 水 士		22			5	12		5
海技士	航 海	3 級	1			1		
		4 級	1			1		
		6 級	1			1		
	機 関	3 級	2	1		1		
		4 級						
		5 級	1		1			
小型船舶	1 級	11			1	8		2
操 縱 士	4 級	33		5	12	10		6
無 線	陸 上 特 殊	1 級	1					1
		2 級	27	3	12	9	2	1
		3 級	57	3	4	15		35
	海上特殊	2 級	2			1		1
	ア マ チュア	2 級	1			1		
		4 級	3		2	1		
		電話級	9	4	4		1	
クレーン	小 型	固定式	3		1	1	1	
		移動式	54	4	13	24	2	11
玉掛技能講習		51		4	11	23	2	11
特定化学物質等作業主任者		2			1	1		
アセチレンガス溶接士		5			2	1	1	1
電 気 工 事 士		3		1	1	1		
建 築 士	2 級	2	1		1			
衛 生 管 理 者	第 1 種	4	3	1				
危 険 物 取 扱 者	甲 種	3		1	1	1		
	乙 種	117	8	8	24	39	3	35
消 設 備 士	甲 種	7		3	2	2		
	乙 種	22	2	1	10	5		4

総務



消防出初式「新春はしご乗り」

防 火 対 象 物

消防法第17条対象物

(平成17年4月1日現在)

用 途 别		市 町 别	合 計	氣 仙 沼 市	唐 桑 町	本 吉 町	志 津 川 町	歌 津 町
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	1				
	ロ	公会堂・集会場	125	40	13	33	31	8
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	21	17		1	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
3	イ	待合・料理店等	4	4				
	ロ	飲食店	79	54	9	4	10	2
4		百貨店・マーケット・店舗等	183	134	6	8	27	8
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	222	137	25	13	30	17
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	263	223	1	1	35	3
6	イ	病院・診療所・助産所	53	41	2	2	7	1
	ロ	老人福祉施設・救護施設等	74	46	10	7	5	6
7	ハ	幼稚園・養護学校等	16	7	2	4	3	
		学校・各種学校等	157	90	12	22	27	6
8		図書館・博物館・美術館等	7	3	1		2	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	2				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	7	7				
10		車両の停車場等	6	6				
11		神社・寺院・教会等	54	29	5	8	10	2
12	イ	工場・作業場	520	357	25	37	69	32
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2	2				
13	イ	自動車車庫・駐車場	9	6		2	1	
	ロ	飛行機などの格納庫						
14		倉庫	292	215	15	14	31	17
15		前各項に該当しない事業場	229	154	15	16	32	12
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	122	87	1	9	15	10
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	47	35	1	3	5	3
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		文化財等	6	3			3	
合 計			2,501	1,700	143	184	346	128

用途別消防用設備等の設置状況

(平成17年4月1日現在)

用 途 别		消 火 設 備		警 報 設 備			避 難 設 備		
		消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン	ク ラ ー	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 報 警 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1		1	1		1	1
	ロ	公会堂・集会場	125	12		34	4	30	7 48
2	イ	キャバレー・カフエー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊技場・ダンスホール	21	1	2	19	1	3	2 20
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
3	イ	待合・料理店等	4			2	1		1
	ロ	飲食店	79			26	3	21	9 49
4	百貨店・マーケット・店舗等		183	15	4	109	1	40	7 140
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	222	20	3	136	64	34	38 157
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	263	2		40	3	4	33 2
6	イ	病院・診療所・助産所	53	15	5	49	18	18	13 40
	ロ	老人福祉施設・救護施設等	74	9	3	49	5	3	1 30
	ハ	幼稚園・養護学校等	16	2		11	2		
7	学校・各種学校等		157	80		114	7	67	34 7
8	図書館・博物館・美術館等		7	1		3		3	1 3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2			2			1 2
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	7						
10	車両の停車場等		6			2			2 2
11	神社・寺院・教会等		54	1		1	3	22	1
12	イ	工場・作業場	520	55		197	3	9	1 23
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2			1			
13	イ	自動車車庫・駐車場	9			3			1
	ロ	飛行機などの格納庫							
14	倉庫		292	36		79		1	30
15	前各項に該当しない事業場		229	8		41	2	44	17 24
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	122	4	2	55	4	32	17 76
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	47	1		7	3	2	2 2
16の2	地下街								
16の3	準地下街								
17	文化財等		6			5			
合 計			2,501	262	20	986	124	334	186 661

用途別予防査察状況

(平成16年度中)

		市町別	合計	気仙沼市	唐桑町	本吉町	志津川町	歌津町
		用途別						
1	イ	劇場・映画館・演芸場等						
	ロ	公会堂・集会場	59	2	13	5	31	8
2	イ	キャバレー・カเฟー・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	5			2	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
3	イ	待合・料理店等						
	ロ	飲食店	28	7	9		10	2
4	百貨店・マーケット・店舗等	113	77	6	6	16	8	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	214	112	25	13	30	34
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅						
6	イ	病院・診療所・助産所	37	27	2		7	1
	ロ	老人福祉施設・救護施設等	54	33	10		5	6
	ハ	幼稚園・養護学校等	9	3	2	1	3	
7	学校・各種学校等	49	4	12			27	6
8	図書館・博物館・美術館等	4		1			2	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場						
10	車両の停車場等							
11	神社・寺院・教会等	30	5	5	8	10	2	
12	イ	工場・作業場	91	1	25	35		30
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	2			1	1	
	ロ	飛行機などの格納庫						
14	倉庫	34	1	2			17	14
15	前各項に該当しない事業場	20				10		10
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	28	9	1		10	8
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	6		1	2		3
16の2	地下街							
16の3	準地下街							
17	文化財等	6	3				3	
合計		789	284	114	83	175	133	

用途別中高層建築物の現況

(平成17年4月1日現在)

用 途 别		区 分	法対象 17物 条数	法第8条 対象物数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	1		1					
	ロ	公会堂・集会場	125	32	86	4	1				
2	イ	キャバレー・カフー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	21	19							
3	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	イ	待合・料理店等	14	2	1		1				
4	ロ	飲食店	96	32	43		1		1		
	百貨店・マーケット・店舗等		186	108	27	3	2				
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	227	105	29	15	3		3		3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	235	10	2	17	6	5	1		
6	イ	病院・診療所・助産所	51	21		62	4	4	2		
	ロ	老人福祉施設・救護施設等	72	54	2	11	2				
7	ハ	幼稚園・養護学校等	40	11	3	1					
	学校・各種学校等		132	58		14	4	2			
8	図書館・博物館・美術館等		5	3	4	27					
	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2	2		2					
9	ロ	人に掲げる以外の公衆浴場	7	2	1						
	10 車両の停車場等		6								
11	11 神社・寺院・教会等		54	21	9		1				
	イ	工場・作業場	520	47	3	21	2				
12	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	2								
	イ	自動車車庫・駐車場	9			2					
13	ロ	飛行機などの格納庫									
	14 倉庫		292			14	3				
15	15 前各項に該当しない事業場		229	44	12	54	5	5	4		
	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	122	75	9	47	6	4		2	
16	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	47	12		4					
16の2 地下街											
16の3 準地下街											
17	文化財等		6		1						
合 計			2,501	659	232	299	41	20	11	2	3

防火管理者を要する対象物

(平成17年4月1日現在)

市町別 用途別		合計		気仙沼市		唐桑町		本吉町		志津川町		歌津町	
		甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇場・映画館・演芸場等		1		1							
	ロ	公会堂・集会場	32	86	14	20	2	11	8	24	6	25	2
2	イ	キャバレー・カเฟー・ナイトクラブ等											
	ロ	遊技場・ダンスホール	19		15				1		3		
3	イ	待合・料理店等	2	1	2	1							
	ロ	飲食店	32	43	23	31	3	4	1	3	4	4	1
4	百貨店・マーケット・店舗等			108	27	92	15	3	2	2	9	8	2
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	105	29	65	6	10	11	8	2	12	8	10
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	10	2	8	2					2		
6	イ	病院・診療所・助産所	21		15		2		1		3		
	ロ	老人福祉施設・救護施設等	54	2	35	1	6		6		3	1	4
7	ハ	幼稚園・養護学校等	11	3	5	2	2		3		1	1	
	学校・各種学校等			58		33		5		7		10	3
8	図書館・博物館・美術館等			3	4	3			1			2	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	2		2								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2	1	2	1							
10	車両の停車場等												
11	神社・寺院・教会等			21	9	11	6	4		3	1	1	2
12	イ	工場・作業場	47	3	34	3	1		5		6		1
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ											
13	イ	自動車車庫・駐車場											
	ロ	飛行機などの格納庫											
14	倉庫												
15	前各項に該当しない事業場			55	12	35	7	3	2	3	3	11	3
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	74	9	52	7			5		10	1	7
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2				1		1				
16の2	地下街												
16の3	準地下街												
17	文化財等				1						1		
合計				659	232	447	102	42	31	54	33	81	53
													13

建築同意事務

(平成16年度中)

用 途 别		市 町 别	合 計	氣 仙 沼 市	唐 桑 町	本 吉 町	志 津 川 町	歌 津 町
1	イ 劇場・映画館・演芸場等							
	ロ 公会堂・集会場		9	6		1	2	
2	イ キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							
	ロ 遊技場・ダンスホール		2	2				
3	イ 待合・料理店等							
	ロ 飲食店		1				1	
4	百貨店・マーケット・店舗等		11	6		3	2	
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等							
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅		12	6	1		5	
6	イ 病院・診療所・助産所		4	2			2	
	ロ 老人福祉施設・救護施設等		4	4				
	ハ 幼稚園・養護学校等		2			2		
7	学校・各種学校等		6	4		2		
8	図書館・博物館・美術館等							
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場等							
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場							
10	車両の停車場等							
11	神社・寺院・教会等		3	3				
12	イ 工場・作業場		17	11		4	2	
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ 自動車車庫・駐車場		4	3			1	
	ロ 飛行機などの格納庫							
14	倉庫		31	18	1	4	3	5
15	前各項に該当しない事業場		16	12		4		
16	イ 特定部分を含む複合用途防火対象物		4	2				2
	ロ イ以外の複合用途防火対象物							
17	重要文化財等							
18	延長50メートル以上のアーケード							
	専用住宅		21	18		1	2	
	併用住宅		19	7		10	1	1
	その他の		36	20		4	4	8
合 計			202	124	2	35	25	16

危 險 物

危険物施設

(平成17年4月1日現在)

市町別		合計	気仙沼市	唐桑町	本吉町	志津川町	歌津町	
製造所等別								
合	計	456	320	20	38	57	21	
製	造	所						
貯 蔵 所	小	計	309	229	12	20	37	11
	屋内	45	32		7	5	1	
	屋外タンク	46	39	1	1	3	2	
	屋内タンク	11	10			1		
	地下タンク	84	56	3	7	16	2	
	簡易タンク	1	1					
	移動タンク	81	65	3	1	10	2	
	屋外	41	26	5	4	2	4	
取 扱 所	小	計	147	91	8	18	20	10
	給油	75	41	6	9	12	7	
	第一種販売	1	1					
	第二種販売							
	一般	68	46	2	9	8	3	
	移送	3	3					

危険物施設の予防査察実施状況

(平成16年度中)

市町別		合計	気仙沼市	唐桑町	本吉町	志津川町	歌津町
製造所等別							
合	計	136	41	24	14	46	11
製	造	所					
貯 藏 所	小	計	82	35	12	3	29
	屋内		10	3		2	5
	屋外タンク		4		1		3
	屋内タンク						
	地下タンク		14	1	3		9
	簡易タンク						
	移動タンク		46	30	3	1	10
	屋外		8	1	5		2
取 扱 所	小	計	54	6	12	11	17
	給油		40	5	6	10	12
	第一種販売						
	第二種販売						
	一般		14	1	6	1	5
	移送						

危険物事務処理件数

(平成16年度中)

区分 製造所等別	許可		完成		完成検査(タンク前検査)	仮使用	種類・数量変更	譲渡引渡	廃止届	合計	仮取扱
	設置	変更	設置	変更							
合 計	12	26	13	26	3	14	3	5	17	116	
製 造 所											
貯蔵所	小 計	8	13	8	14		3	3	4	14	67
	屋 内							1		2	2
	屋外タンク	1	3	1	3		2	1		1	12
	屋内タンク								1		1
	地 下 タンク	2	1	2	2		1		2	3	8
	簡易タンク										
	移動タンク	2	6	2	6			1	1	3	21
	屋 外	5	3	5	3		1	1		5	23
取扱所	小 計	4	13	5	12	3	11	1	1	3	49
	給 油		10		9	1	10	1	1	2	32
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般	4	3	5	3	2	1			1	17
	移 送		1								1

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(平成17年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
気仙沼・本吉地区危険物安全協会		S48. 4.24	136	
気 仙 沼 支 部	小 計		108	
	気 仙 沼 市	S32. 3.17	89	
	唐 桑 町	S35. 8	10	
	本 吉 町	S35. 8	9	
志 津 川 支 部	小 計		28	
	志 津 川 町	S35. 8	22	
	歌 津 町	S35. 8	6	

防火管理者協会結成状況

(平成17年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9.28	177	
2	唐 桑 町	S52.11.21	54	
3	本 吉 町	S51. 8.20	67	
4	志 津 川 町	S49.12. 5	93	
5	歌 津 町	S55.11.21	53	
合 計			444	

幼年消防クラブ結成状況

(平成17年4月1日現在)

市町名		結成年月日	クラブ数	クラブ員数	摘要
1	気仙沼市	S57. 6.10	26	1,141	
2	唐桑町	H元.12.25	1	69	
3	本吉町	S59.12. 4	2	56	
4	志津川町	S58. 3. 9	5	306	
5	歌津町	S56. 6. 4	4	129	
合計			38	1,761	

少年消防クラブ結成状況

(平成17年4月1日現在)

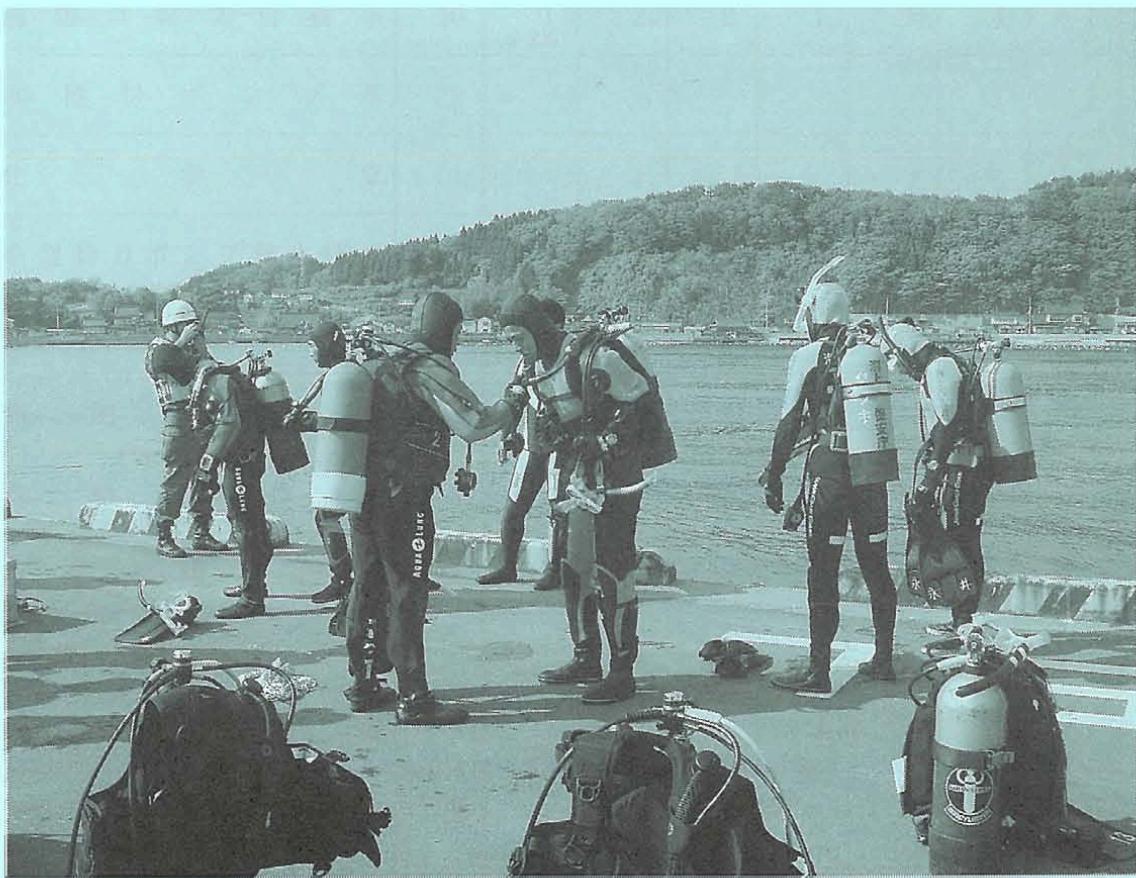
クラブ名		結成年月日	隊員数	所在地
1	小原木小学校	S55. 7.16	19	唐桑町字岩井沢97-3
2	中井ヶ	S55. 7.17	26	唐桑町字欠浜134-3
3	唐桑ヶ	S55. 7.23	23	唐桑町字宿浦400-2
4	馬籠ヶ	S59. 7.20	12	本吉町小金山1-1
5	気仙沼ヶ	S63. 6. 4	144	気仙沼市笹ヶ陣3-1
6	南気仙沼ヶ	H元. 4.25	65	気仙沼市南郷25-1
7	九条ヶ	H 3. 5.17	73	気仙沼市九条326
合計			362	

婦人防火クラブ結成状況

(平成17年4月1日現在)

クラブ連合会名		結成年月日	単位クラブ数	会員数	事務局所在地
1	気仙沼市	S56. 5.28	22	2,320	気仙沼市字赤岩五駄鱈43-2
2	唐桑町	S45. 6.17	4	786	唐桑町字馬場181-1
3	本吉町	S50. 4. 9	40	3,477	本吉町津谷松尾1-1
4	志津川町	S46. 5.18	41	3,931	志津川町塩入77
5	歌津町	S47. 1.27	17	923	歌津町字伊里前91
6	気仙沼・本吉地区 婦人防火クラブ連合会	S56. 8.11	124	11,437	気仙沼市字赤岩五駄鱈43-2

警 防



塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊合同訓練

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(平成17年4月1日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	氣 仙 沼 消 防 署	南 町 出 張 所	大 島 出 張 所	唐 桑 出 張 所	本 吉 分 署	志 津 川 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	39	6	10	4	4	3	4	5	3
消防ポンプ自動車	10	1 (非常用)	2	2	1	1	1	1	1
水槽付ポンプ車	2						1	1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
屈折梯子車	1		1						
照明電源車	1		1						
救助工作車	1		1						
高速消防救急艇	1				1				
高規格救急自動車	5		1	1		1	1	1	
救急自動車	3	1 (非常用)			1				1
指令車	3	1	1					1	
査察車	1						1		
指揮車	2	1		1					
多機能型広報車	2					1			1
広報車	2	1			1				
資器材搬送車	2		1					1	
人員輸送車	1	1							

消防車両等の配置現況

(平成17年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	購入年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	指 令 車	ト ヨ タ	H01.12	15	きしょう 1
	指 撃 車	ト ヨ タ	H15.02	2	タ 12
	防 火 広 報 車	ト ヨ タ	H04.09	12	タ 60
	人 員 輸 送 車	イ ス ズ	H03.02	14	
	消防ポンプ車(非常用)	イ ス ズ	S61.03	19	きしょう 15
	救 急 自 動 車(非常用)	日 产	H05.09	11	タ 19
気仙沼消防署	消防ポンプ車(2号車)	三 菱	H11.01	6	タ 4
	消防ポンプ車(3号車)	ト ヨ タ	H15.11	1	タ 8
	化 学 車(防災85号)	イ ス ズ	S60.08	19	タ 17
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	7	タ 7
	屈 折 梯 子 車	日 野	S54.12	25	タ 13
	救 助 工 作 車	三 菱	H06.09	10	タ 11
	照 明 電 源 車	イ ス ズ	S57.12	22	タ 20
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	H06.03	11	タ 9
	指 令 車	三 菱	H09.12	7	タ 6
	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	S62.10	17	タ 18
南町出張所	消防ポンプ車(1号車)	イ ス ズ	S57.03	23	タ 3
	消防ポンプ自動車	三 菱	H07.03	10	タ 2
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	H13.02	3	タ 5
	防 災 指 撃 車	三 菱	S62.11	17	タ 14
大島出張所	消防ポンプ自動車	三 菱	H07.12	9	タ 61
	救 急 自 動 車	日 产	H10.12	6	タ 62
	広 報 連 絡 車	ト ヨ タ	H03.09	13	タ 63
	高 速 消 防 救 急 騒		H12.03	5	タ 10
唐桑出張所	消防ポンプ自動車	三 菱	H12.06	4	タ 71
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	H15.03	2	タ 72
	多 機能 型 広 報 車	三 菱	H09.03	8	タ 73
本吉分署	消防ポンプ自動車	三 菱	H01.03	16	タ 21
	水 槽 付 ポンプ車	日 野	H14.12	2	タ 24
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	H12.04	4	タ 22
	查 察 車	日 产	H04.03	13	タ 23
志津川消防署	消防ポンプ自動車	三 菱	H01.03	16	タ 32
	水 槽 付 ポンプ車	日 野	H14.12	2	タ 35
	高 規 格 救 急 自 動 車	ト ヨ タ	H09.01	8	タ 33
	指 令 車	日 产	H04.03	13	タ 34
	資 器 材 搬 送 車	ト ヨ タ	H11.10	5	タ 36
歌津出張所	消防ポンプ自動車	三 菱	H14.12	2	タ 41
	救 急 自 動 車	日 产	H07.11	9	タ 42
	多 機能 型 広 報 車	ト ヨ タ	H09.06	7	タ 43

消防力の基準と現有

消防本部・署所の人員

(平成15年4月1日現在)

区分		基準台数 (台)	基準台数 に対する 人員の 基準数 (人)	現有台数 (非常用 を除く) (台)	現有台数 に対する 人員の 基準数 (人)	現 有 人 員 数 (人)				
消防隊員 (第22条)	消防ポンプ自動車	12	222	12	210	92				
	屈折はしご自動車	1		1						
	化 学 消 防 車	1		1						
	三 点 セ ッ ト	0		0						
	消 防 艇	1		1						
	特殊車	小型動力ポンプ付水槽車		1						
		照明電源車		1						
救急隊員 (第23条)	救 急 自 动 車	8		8						
	救急用回転翼航空機	—		—						
救助隊員 (第24条)	救 助 工 作 車 (A及びBを除く)	1		0						
	救 助 工 作 車 (省令4条救助隊)A	1		1						
	その他の消防用自動車B	0		0						
通 信 員 (第25条)						13				
予防要員 (第26条)	予 防 事 務 の 要 員	状 況 を 勘 案 し 定 め た 人 員 数			14					
	危 険 物 事 務 の 要 員	タ			1					
消防司令長等 (第27条)						51				
庶務の処理等の人員 (第29条)						25				

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(平成15年4月1日現在)

市 町 名	地 域	人 口	署 所				動力消防ポンプ数								
			基 準 数		現 有 数	不 足 数	比 率 (%)	署所管理分		消防団管 理分					
			国	市町村 ア	イ	アーラ イ/ ×100	車 消 防 台 (台)	消防 ポン プ 数	車 消 防 台 (台)	消防 ポン プ 数	動 力 手 引 ・ 小 型 (口)	動 力 手 引 ・ 小 型 (口)	ポン プ 消 防 (口)	動 力 手 引 ・ 小 型 (口)	
			国	市町村 ウ	国	市町村 エ	国	市町村 エ	国	市町村 オ	国	市町村 オ	国	市町村 オ	
気仙沼市	市街地	36,992	2	2	2		100	4	4	1	7	4	10	6	24
	準市街地	17,453		1	1		100		1		2		20	32	24
	その他	6,112											11		11
	計	60,557	2	3	3		100	4	5	1	9	4	41	38	59
唐桑町	市街地	—													
	準市街地	4,454		1	1		100		1		1		6	12	8
	その他	4,207											11		11
	計	8,661		1	1		100		1		1		17	12	19
本吉町	市街地	—													
	準市街地	4,315		1	1		100		2		2		8	10	12
	その他	7,792											22		22
	計	12,107		1	1		100		2		2		30	10	34
志津川町	市街地	—													
	準市街地	10,090		1	1		100		2		3		18	20	24
	その他	3,870											14		14
	計	13,960		1	1		100		2		3		32	20	38
歌津町	市街地	—													
	準市街地	2,630		1	1		100		1		2		2	8	6
	その他	2,991									1		17		19
	計	5,621		1	1		100		1		3		19	8	25
津山町	市街地	—													
	準市街地	2,677		1	1		100		1				8	8	8
	その他	1,718											6		6
	計	4,395		1	1		100		1				14	8	14
合 計	市街地	36,992	2	2	2		100	4	4	1	7	4	10	6	24
	準市街地	41,619		6	6		100		8		10		62	90	82
	その他	26,690									1		81		83
	計	105,301	2	8	8		100	4	12	1	18	4	153	96	189

市 町 名	地 域 名	消防ポンプ車現有数			動力消防ポンプ現有数										
		合計			署所管理分					消防団管理分					
		消防車ポンプ数(台)	換算学数車(台)	不足率(%)	消防車ポンプ数(台)	換算学数車(台)	不足率(%)	消防車ポンプ数(台)	不足率(%)	手引小型動力(口)	ポンプ数(台)	不足率(%)	手引小型動力(口)	ポンプ数(台)	不足率(%)
気仙沼市	市街地	11		100	4		100	7		100	12	△2	120		
	準市街地	3		100	1		100	2		100	18	2	90		
	その他										11		100		
	計	14		100	5		100	9		100	41		100		
唐桑町	市街地														
	準市街地	2		100	1		100	1		100	6		100		
	その他										11		100		
	計	2		100	1		100	1		100	17		100		
本吉町	市街地														
	準市街地	4		100	2		100	2		100	8		100		
	その他										22		100		
	計	4		100	2		100	2		100	30		100		
志津川町	市街地														
	準市街地	5		100	2		100	3		100	18		100		
	その他										14		100		
	計	5		100	2		100	3		100	32		100		
歌津町	市街地														
	準市街地	3		100	1		100	2		100	2		100		
	その他	1		100				1		100	17		100		
	計	4		100	1		100			100	19		100		
津山町	市街地														
	準市街地	1		100	1		100			100	8		100		
	その他										6		100		
	計	1		100	1		100			100	14		100		
合計	市街地	11		100	4		100	7		100	12	△2	120		
	準市街地	18		100	8		100	10		100	60	2	97		
	その他	1		100				1		100	81		100		
	計	30		100	12		100	18		100	153		100		

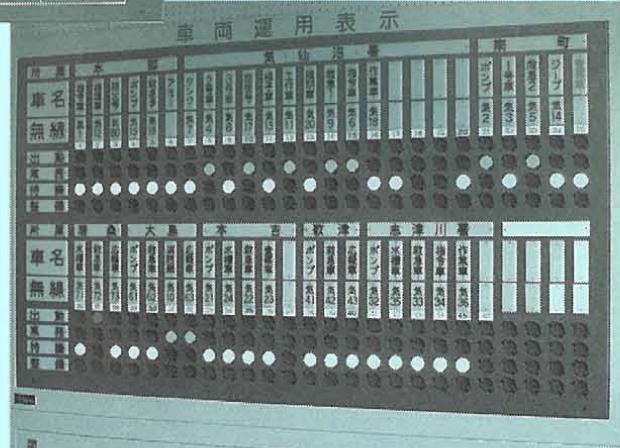
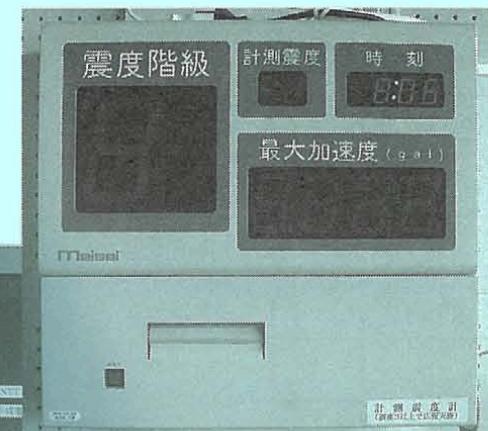
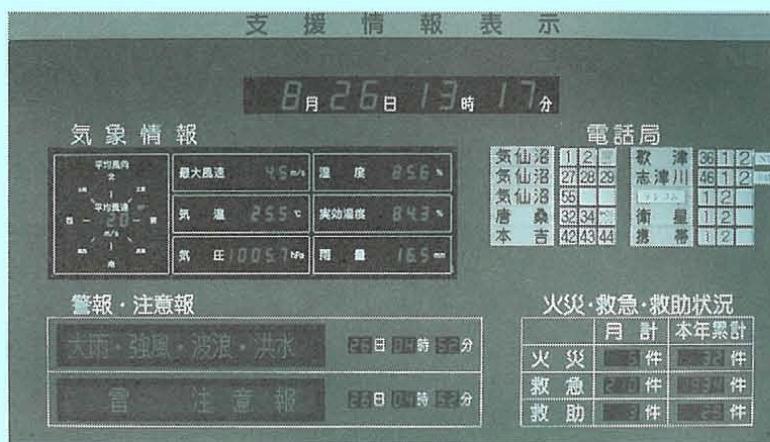
消 防 水 利

管内水利状況

(平成17年4月1日現在)

種別		市町 気仙沼市	唐桑町		本吉町		志津川町		歌津町		合計
合計 (A) + (B) + (C)		1,264	120		360		317		154		2,215
消 火	小計 (A)	地上	422	70	149	57	47	745	1,483		
		地下	534	1	34	145	24	71	738		
栓 設	公地	上	390	70	145	57	47	709			
	私設	地 下	512	1	33	144	24	715			
水 槽	私 設	地 上	32		4				36		
		地 下	22		1				23		
防 水	小計 (B)		173	43	166	102	81	565			
	100m³以上		11		3	2	2	18			
	40m³以上 100m³未満		112	32	85	76	73	378			
	40m³未満		50	11	78	24	6	169			
そ の 他	小計 (C)		135	6	11	13	2	167			
	河川・溝等		15						15		
	海・沼		97		5	1			103		
	プール		23	3	5	10	2	43			
ごう・池等				3	1	2			6		

通 信



車両運用表示

通 信

通信施設の現況

(平成17年4月1日現在)

区分 所 属	有 線					自動車・携帯用電話	無 線					
	火災報知専用回線	加入			指令無線専用回線		消 防			防 災		
		一般回線	テサレーフビオ	F A X			固定局	基地局	陸上移動局			
合 計	19	18	1	8	9	8	9	5	6	38	23	
消防本部	19	9	1	2	2	4	1	1	1	5	4	
気消防防仙署管沼内	気仙沼消防署		1			1				10	6	
	南町出張所		1		1	1		1		4	2	
	大島出張所		1		1	1		2		1	4	
	唐桑出張所		1		1	1	1	1	1	3	2	
	本吉分署		2		1	1	1	1	1	4	2	
	小 計		6		4	5	2	6	2	3	25	
志消防防津署管川内	志津川消防署		2		1	1	2	1	1	1	5	
	歌津出張所		1		1	1		1	1	1	3	
	小 計		3		2	2	2	2	2	8	5	

消防テレホンサービス利用状況

(平成16年)

月	利 用 件 数
1月～3月	3,195
4月～6月	2,497
7月～9月	2,263
10月～12月	5,159
合 計	13,114

119番受信件数

(平成16年)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
一 番	火災	3	11	8	16	1	2	4	2	3	5	1	9	65	
	救急	184	161	161	134	163	145	165	193	156	174	175	213	2,024	
	救助	3						1	3	1		1		9	
	その他の災害	1	2		2		3		4		1	3	1	17	
	問い合わせ	26	25	26	16	14	23	17	28	13	16	22	33	259	
	いたずら等	21	38	29	24	25	14	25	21	17	18	23	14	269	
	訓練・演習	15	34	38	12	27	50	38	18	36	44	106	40	458	
	試験		25	17	18	20	19	46	20	38	20	18	19	260	
九	その他				1	1	1	4	6	5	4	1		23	
番	F A X	火災													
	救急														
	その他の災害														
	訓練・試験等							28	5	7	1	1		42	
119番小計		253	296	279	223	251	257	300	295	269	282	351	329	3,426	
携帯電話	火災	4		5	7	6			5	1	5		2	35	
	救急	37	16	25	16	23	26	34	35	32	31	22	30	327	
	救助	1	1	2	1	1		6	7	3		1		23	
	その他の災害		2	1		2			1	1			2	9	
	問い合わせ	21	13	17	21	20	13	18	28	17	22	29	28	247	
	いたずら等	32	7	23	22	306	510	116	114	78	94	62	107	1,471	
	訓練・演習	1		2	1	10	5		1	3	3	2		28	
	試験	212	176	221	195	191	194	194	197	197	204	195	196	2,372	
電	その他		10				1	1	6	3	1	23		45	
話	他消防管内受信状況	火災	6	6	17	11	4	8	1	1	1	7	4	1	67
	救急	23	24	25	17	28	19	26	27	22	16	24	23	274	
	救助					1				1		2		4	
	上記以外						2		1			2		5	
携帯電話小計		337	255	338	291	592	778	396	423	359	383	364	391	4,907	
合計		590	551	617	514	843	1,035	696	718	628	665	715	720	8,333	

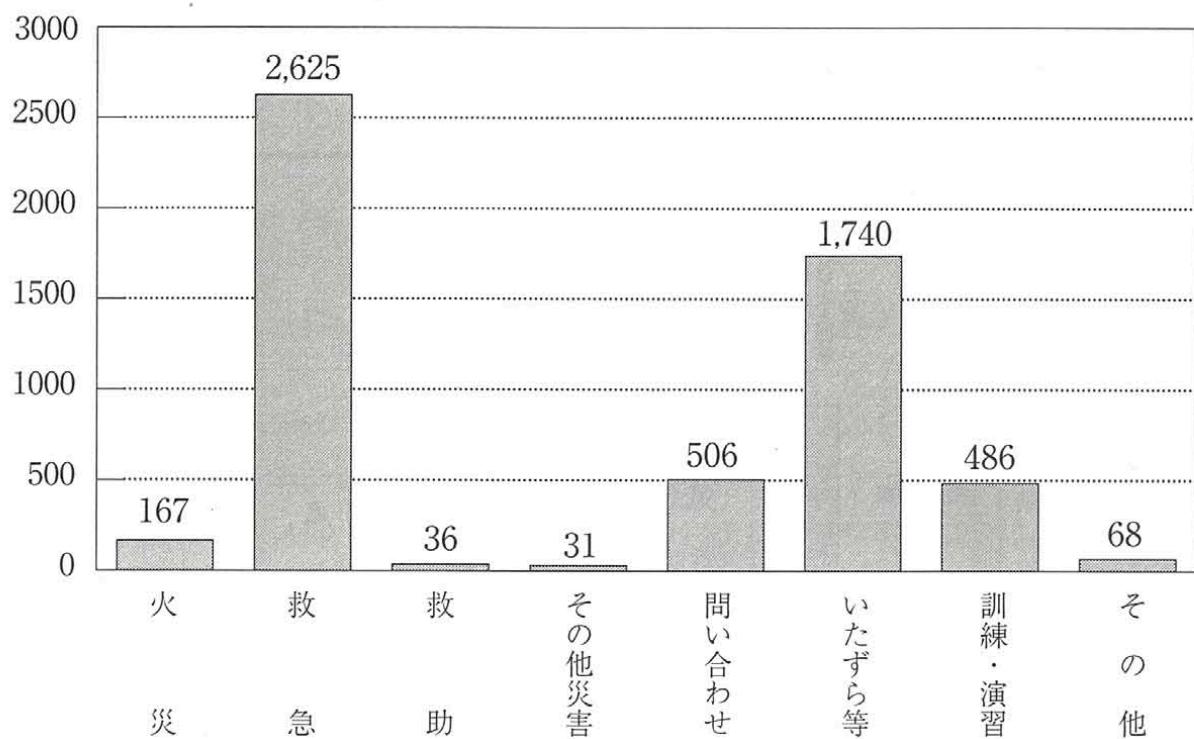
○火災・救急・救助には第2報・第3報の通報も含まれている。

○携帯電話には、PHSも含まれる。

○FAX119は、平成16年9月1日運用開始。

119番受信件数

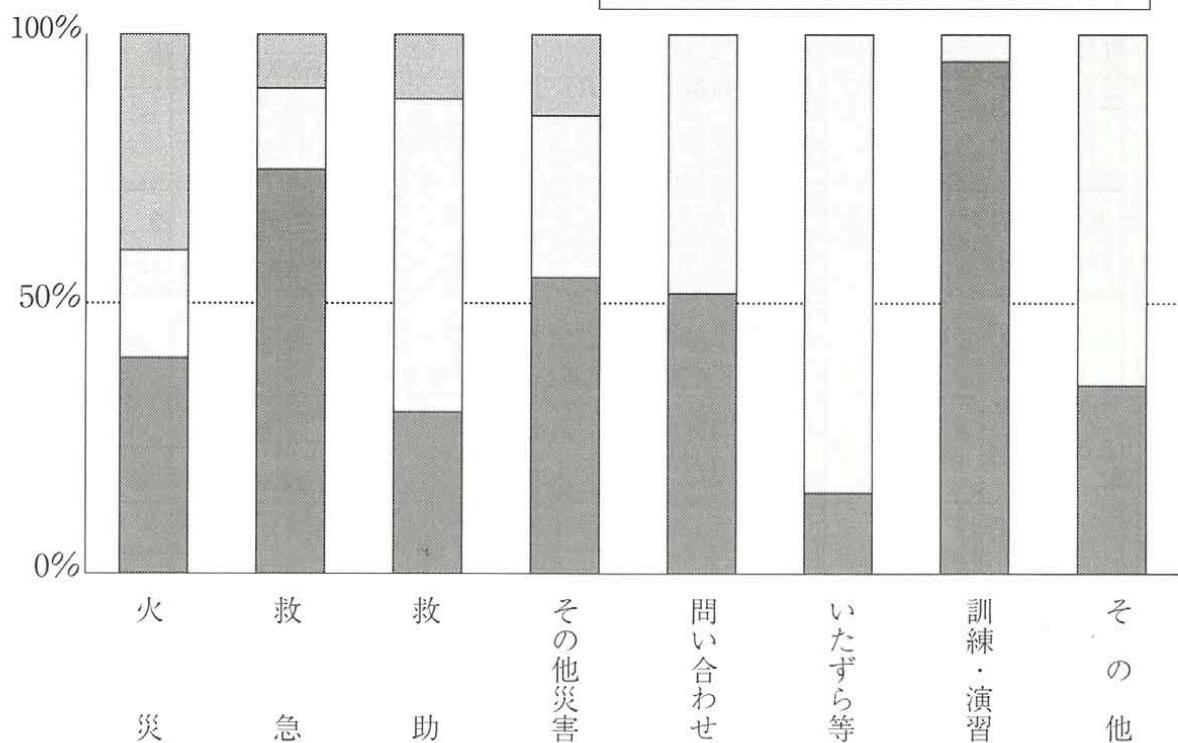
平成16年



119番・携帯電話（管内・管外）比率

平成16年

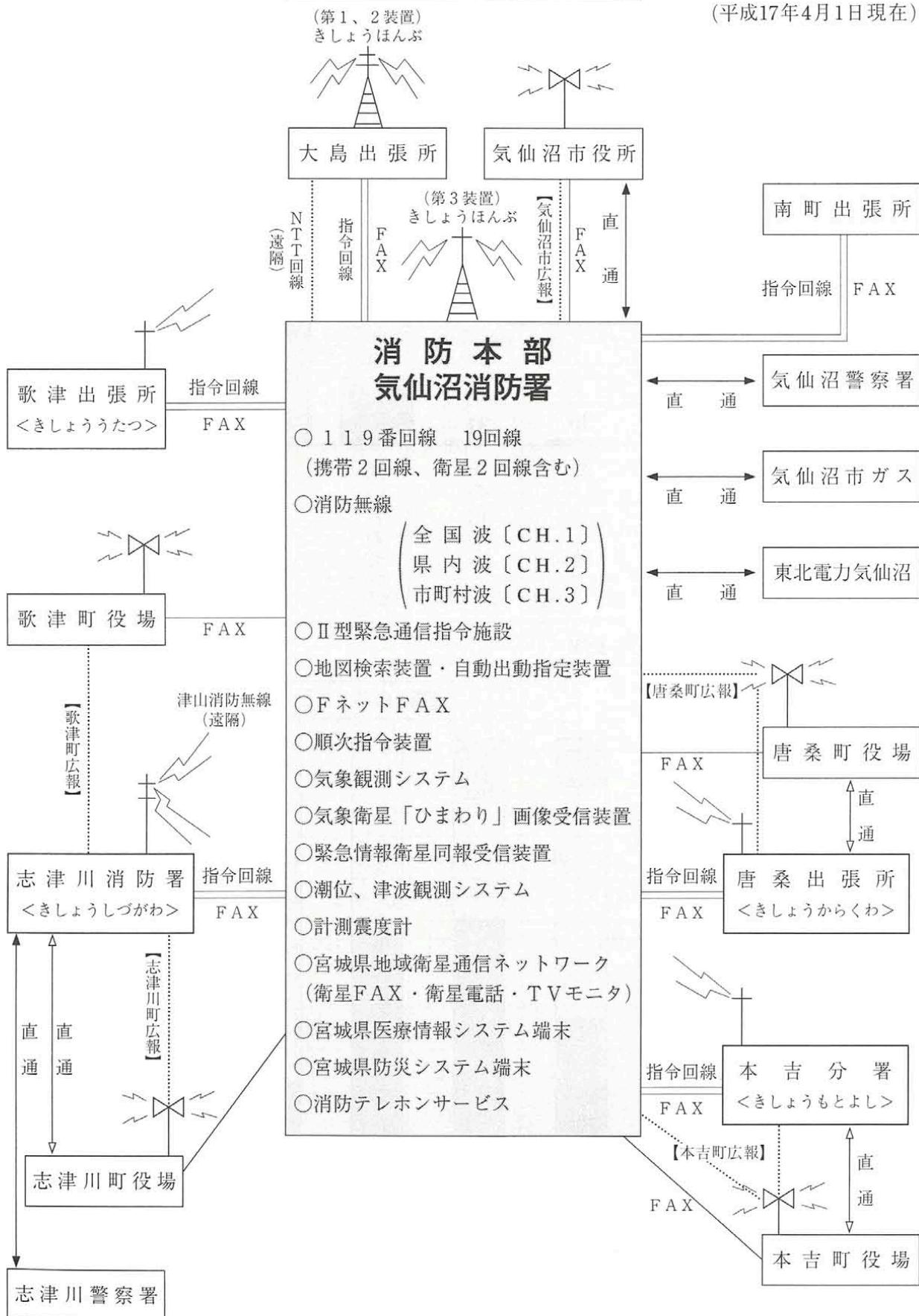
■ 119番 □ 管内携帯 ▨ 管外携帯



※「問い合わせ」・「いたずら等」・「訓練・演習」・「その他」は、管内、管外の区分はなし。

通信系統図

(平成17年4月1日現在)



氣象統計

(平成16年中)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
気温(℃)	平均	0.8	2.2	4.2	9.5	14.1	18.7	22.5	22.9	20.3	13.9	10.7	4.1	12.0	
	最高	8.5	14.2	20.3	25.4	26.0	31.1	34.5	33.5	31.9	23.1	20.1	20.6	34.5	
	最低	-5.7	-6.0	-5.0	-0.8	2.7	10.5	12.5	15.3	12.5	0.3	-2.0	-6.9	-6.9	
降水量(mm)	総量	34.5	44.0	22.0	163.5	149.5	241.5	172.5	120.5	132.5	233.0	79.5	85.5	1478.5	
	最大日量	21.5	25.5	10.5	91.0	62.5	64.5	49.5	51.0	98.0	69.5	29.0	63.5	98.0	
	積雪(cm)	12.0	0.6	17.5									25.1	55.2	
天気	晴	21	17	18	19	14	17	21	22	14	14	20	20	217	
	曇	4	10	12	7	12	10	5	5	13	10	5	9	102	
	雨	3	2		4	5	3	5	3	3	7	5		40	
	雪	3		1									2	6	
	その他								1					1	
平均湿度(%)		72.6	70.7	66.3	67.2	76.6	76.6	80.8	77.7	79.6	79.2	74.7	70.5	74.4	
最多風向		北西	北西	北西	北西	南南東	南南東	南南東	北北西	北北西	北北西	北北西	北西	北西	
風速	平均	2.1	2.0	1.9	2.0	1.3	1.2	1.1	1.4	1.3	1.4	1.5	1.8	1.6	
	最大	22.6	30.2	21.8	24.2	17.8	15.8	14.7	24.0	19.2	19.6	28.6	26.6	30.2	

気象情報等受信統計

(平成16年中)

月別 種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警報	波浪								1	2	2	1	2	8
	大雨										1			1
	洪水										1			1
	暴風		2		1		1		1	2	2	1	2	12
	大雪												1	1
	暴風雪												1	1
津波														0
警報計		0	2	0	1	0	1	0	2	4	6	2	6	24
注意報	乾燥			1	7	1						2	3	14
	強風	1	2		5	3	2		1	4	3	3	3	27
	波浪	1	2		1	2	1		1	2	3	2	3	18
	大雨				2	2	1		1	2				8
	洪水				1	2	2		1	2				8
	雷				1	1	1		1	1				5
	濃霧			3	3	2	4		1	3				16
	大雪												1	1
	風雪	1												1
	着雪												1	1
	低温						1							1
	津波													0
霜				10	1						1	1		13
高潮						1				1	2			4
注意報計		3	4	1	26	14	11	9	2	11	17	8	11	117
警報・注意報計		3	6	1	27	14	12	9	4	15	23	10	17	141
火災気象通報		10	15	25	39	7	3	0	0	3	0	9	25	136
情報	台風					17	8			27	38			90
	大雨				4	4		21	17		10	1		57
	暴風	3	7		5						12	7		34
	大雪	7	1	3									4	15
	地震			1		1					3		1	6
	津波													0
	気圧	23	8	2						1			16	50
その他				3	9						1			13
情報計		33	16	9	18	22	8	21	17	28	52	13	28	265
地震	震度1	3	2	1	6	3	5	3	2	2	4	5	4	40
	震度2	1	1	2		2	1			1	1	4	3	16
	震度3	2	2						1					5
	震度4												1	1
	震度5弱													0
	震度5強													0
地震計		6	5	3	6	5	6	3	3	3	5	9	8	62
○震度は、気仙沼・本吉広域防災センター（気象庁設置）の震度計データ。														

管内消防団

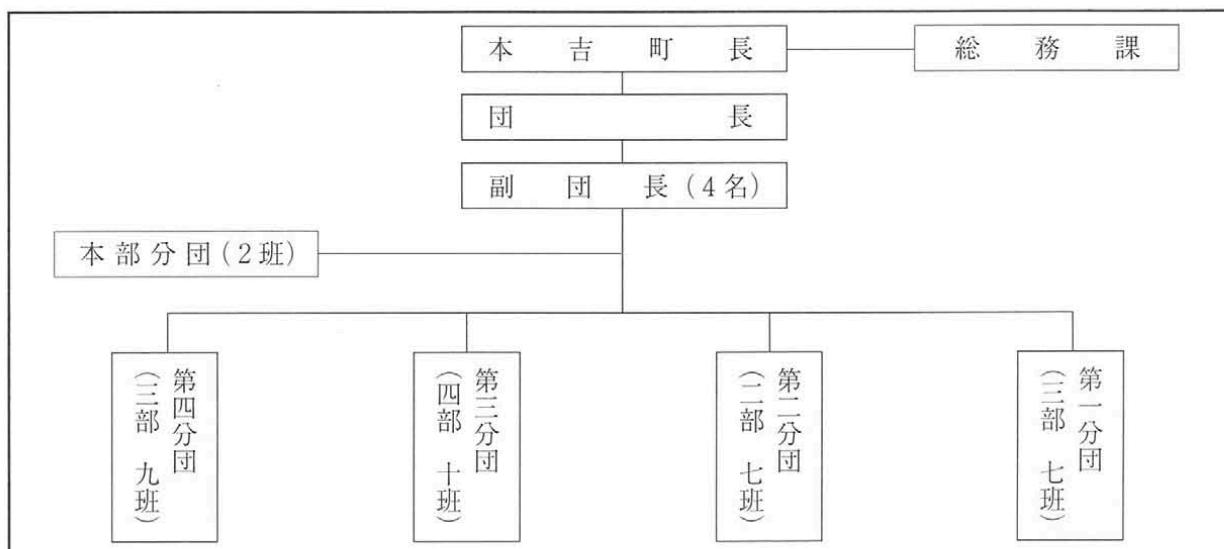
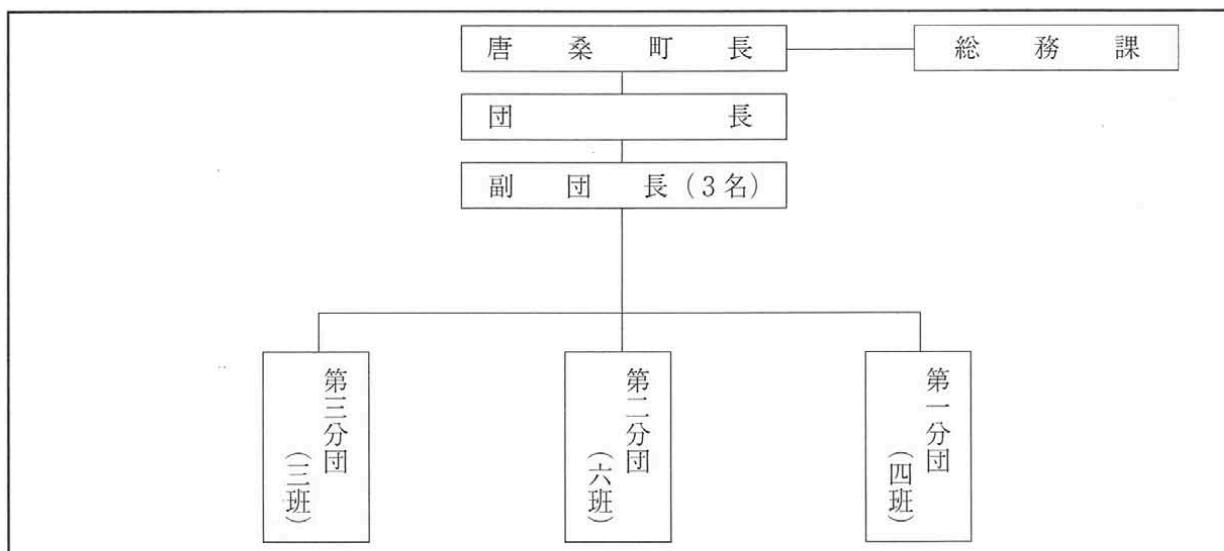
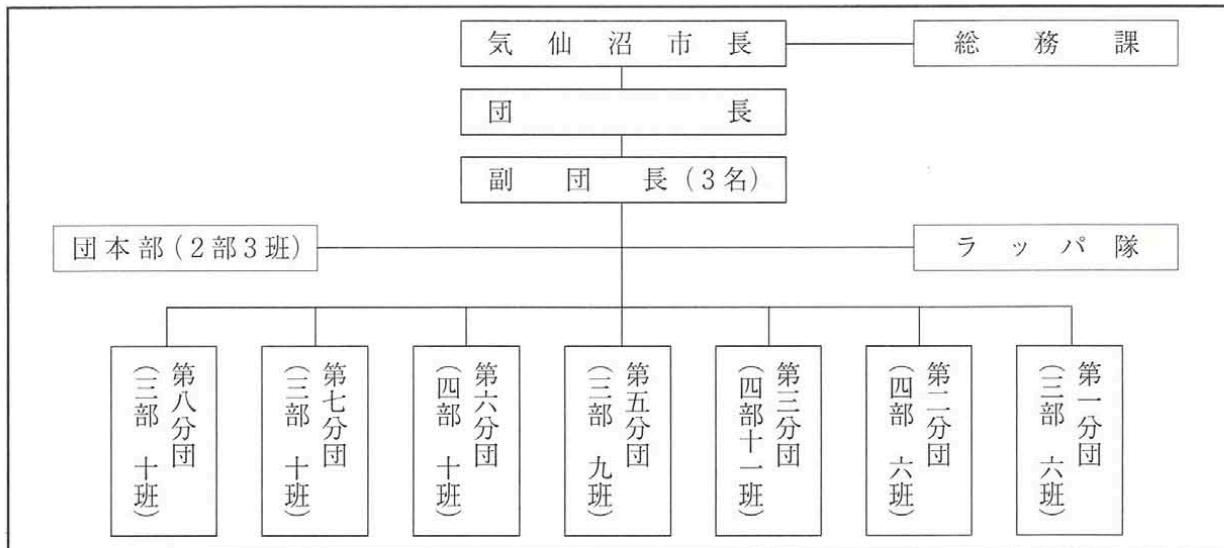


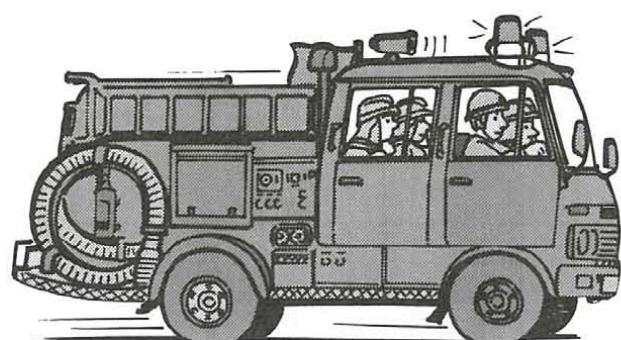
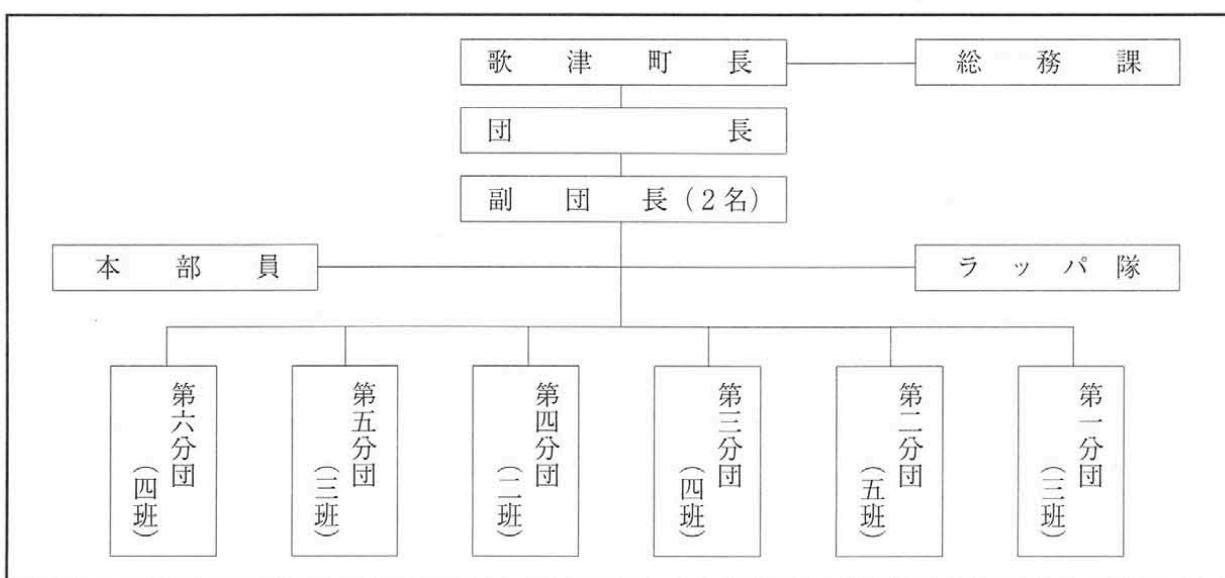
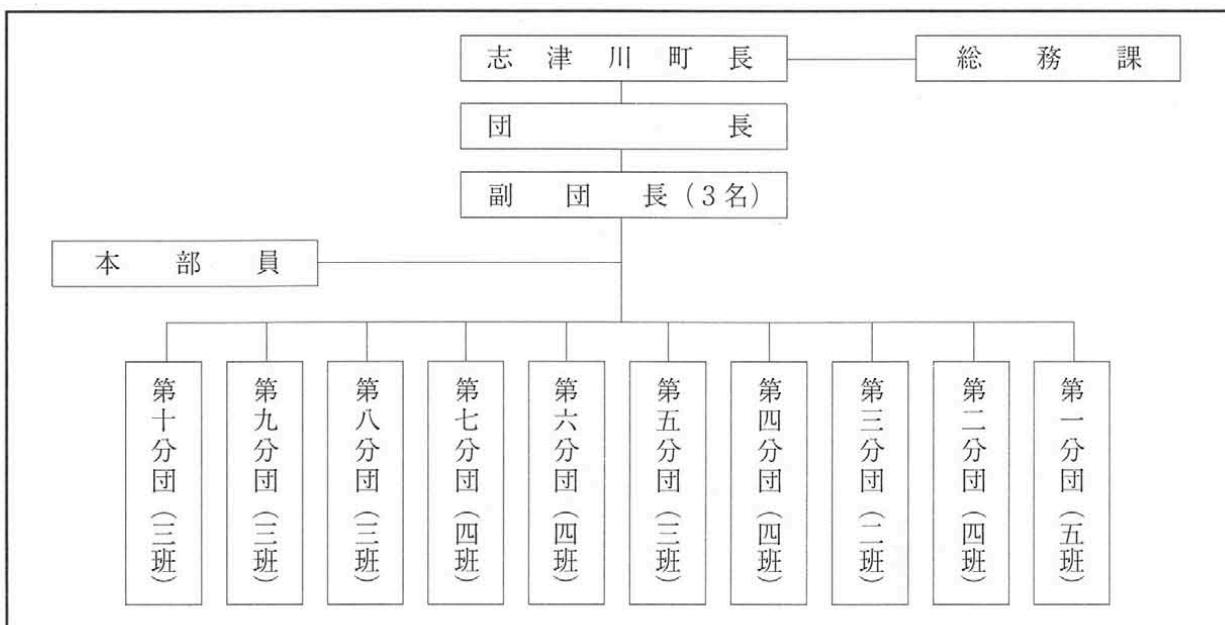
6.12 気仙沼市総合防災訓練「倒壊家屋からの救出活動」

管 内 消 防 団

組織機構図

(平成17年4月1日現在)





組 織

(平成17年4月1日現在)

区分 市町	団数	分団数	部数	班数	条例定員数	実員数
気仙沼市	1	8	25	65	600	486
唐桑町	1	3	4	13	180	143
本吉町	1	5	13	35	340	278
志津川町	1	10		35	380	351
歌津町	1	6		22	285	242
合 計	5	32	42	170	1,785	1,500

階級別消防団員数

(平成17年4月1日現在)

階級 市町	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
気仙沼市	1	3	8	16	26	62	370	486
唐桑町	1	3	3	4	4	16	112	143
本吉町	1	4	5	5	13	35	215	278
志津川町	1	3	10	10		35	292	351
歌津町	1	2	6	6		22	205	242
合 計	5	15	32	41	43	170	1,194	1,500

年齢別消防団員数

(平成17年4月1日現在)

年齢 市町	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60歳以上	合計
気仙沼市		38	119	157	129	43	486
唐桑町		8	34	36	39	26	143
本吉町		26	64	95	78	15	278
志津川町		33	114	143	54	7	351
歌津町		11	62	96	69	4	242
合 計	0	116	393	527	369	95	1,500

在職年数別消防団員数

(平成17年4月1日現在)

年 数 市 町	5 年 未 満	5 年 以 上 10年未満	10 年 以 上 15年未満	15 年 以 上 20年未満	20 年 以 上 25年未満	25 年 以 上 30年未満	30 年 以 上	合 計
氣仙沼市	102	70	83	65	64	56	46	486
唐桑町	22	26	23	17	16	14	25	143
本吉町	54	44	39	35	45	19	42	278
志津川町	81	69	74	56	31	20	20	351
歌津町	34	45	46	43	26	19	29	242
合 計	293	254	265	216	182	128	162	1,500

消防団員報酬

(平成17年4月1日現在) (単位:円)

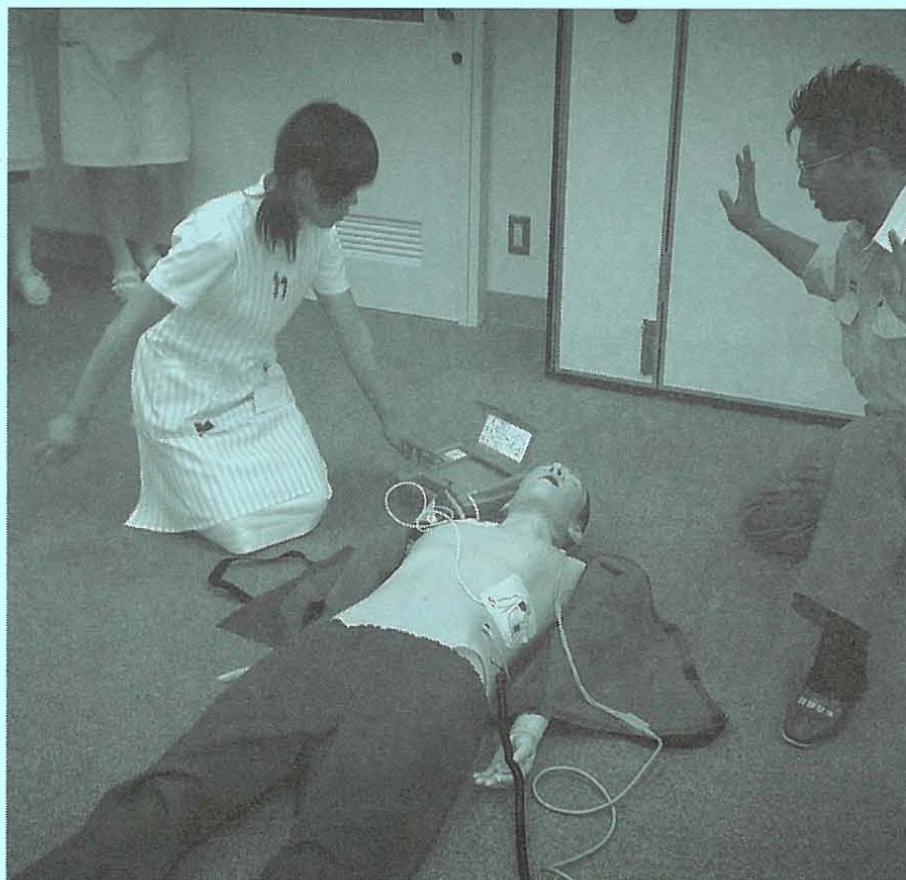
報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
氣仙沼市	92,400	74,800	56,700	47,700	39,500	30,400	22,500	2,700
唐桑町	66,500	46,000	32,000	28,000	25,000	24,000	21,500	2,300
本吉町	66,500	46,000	32,200	28,100	25,000	24,000	21,500	2,300
志津川町	87,400	50,500	32,400	30,300		26,300	21,500	2,300
歌津町	155,000	116,000	86,000	65,000		59,000	46,000	

消防施設の現況

(平成17年4月1日現在)

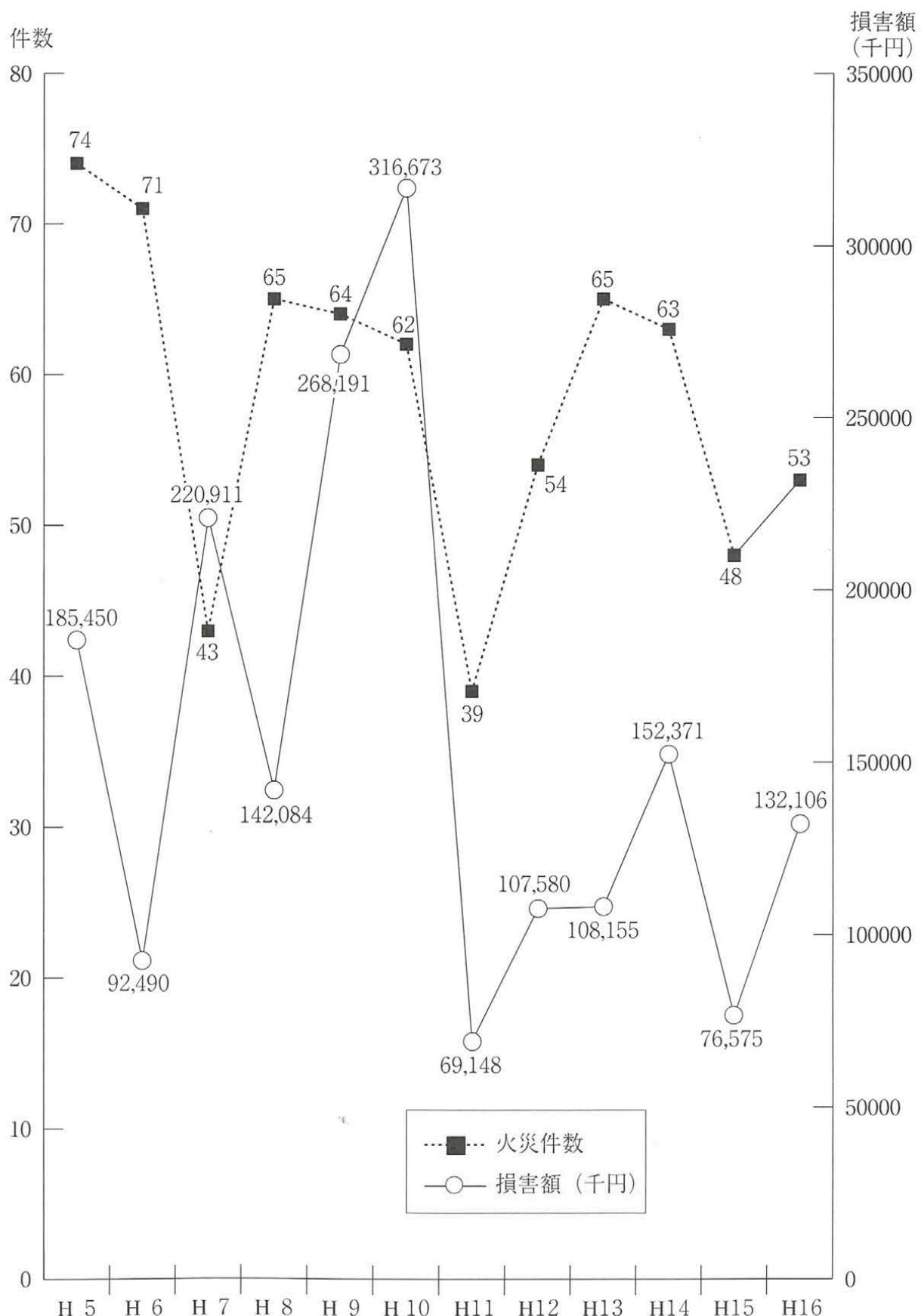
施 設 市 町	消防ポンプ 自動車	積載車	小型動力 ポンプ	消火栓	防火水槽	その他の 水利
氣仙沼市	9	26	42	947	171	135
唐桑町	1	14	17	71	43	6
本吉町	2	23	30	182	165	11
志津川町	3	31	32	201	105	13
歌津町	3	8	11	71	81	2
合 計	18	102	132	1,472	565	167

火災・救急統計



救急講習「AED（自動体外式除細動器）」

火災件数及び損害額の推移

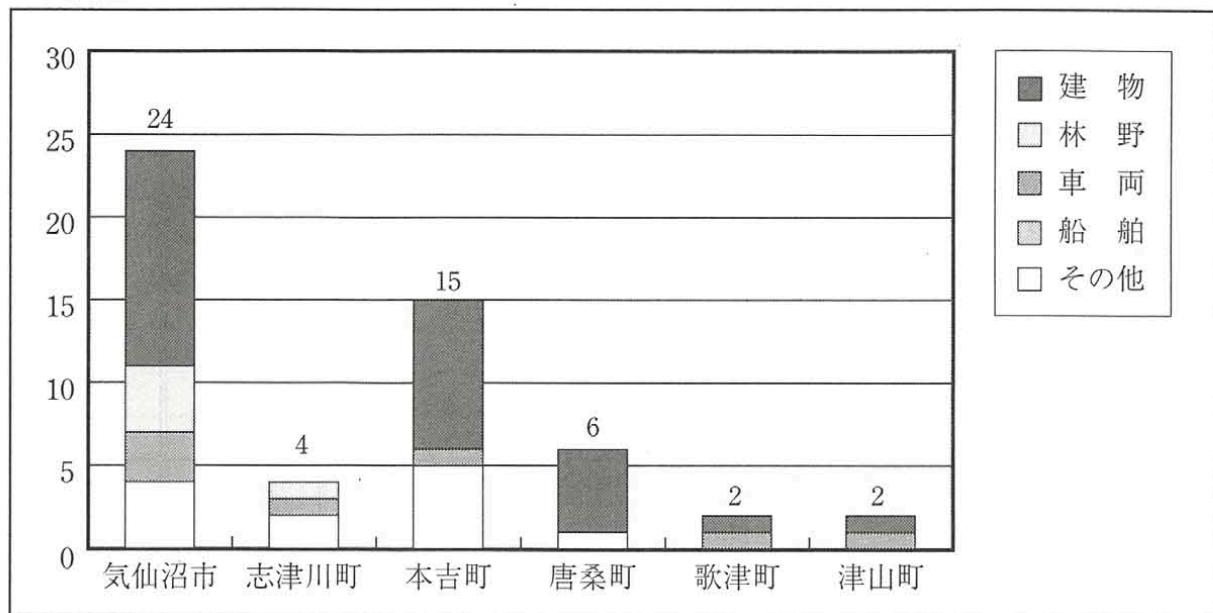


市町別火災発生状況

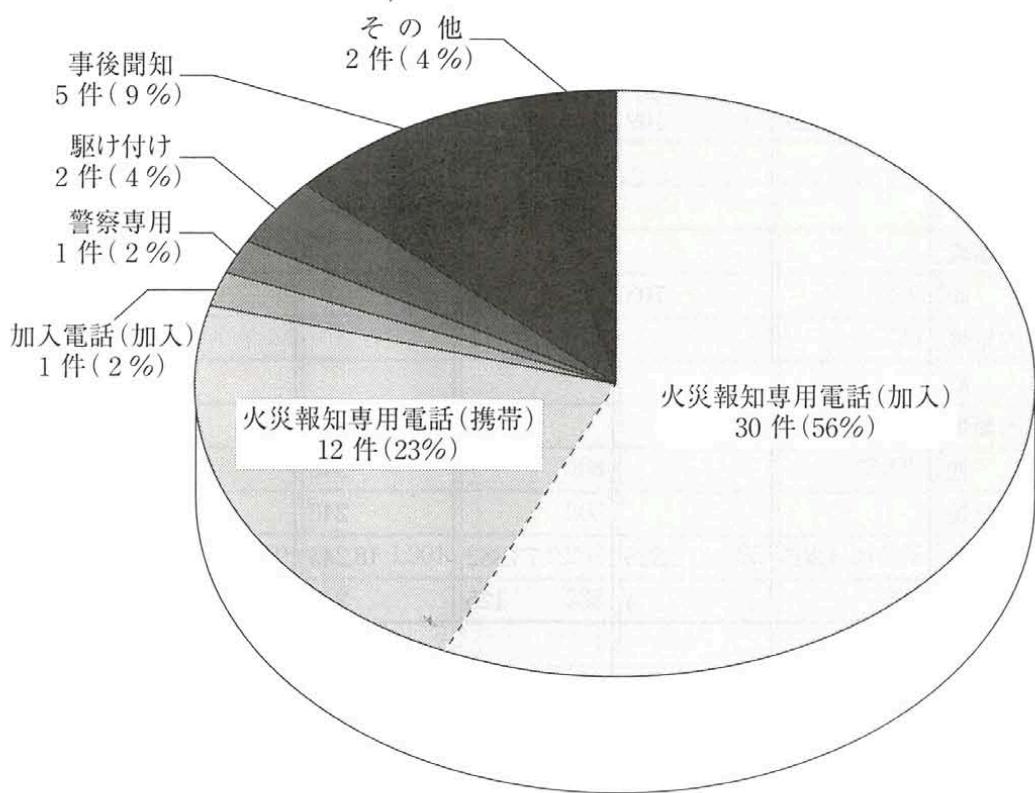
(平成16年中)

区分		市町	気仙沼市	志津川町	本吉町	唐桑町	歌津町	津山町	総計
火災件数	建物	13		9	5	1	1	1	29
	林野	4	1						5
	車両	3	1	1			1	1	7
	船舶								
	その他	4	2	5	1				12
	合計	24	4	15	6	2	2		53
り災棟数	全焼	7		10	1	3	2		23
	半焼	4			1				5
	部分焼	9		4					13
	ぼや	5		3	3				11
	合計	25		17	5	3	2		52
建物焼損面積 (m ²)		481		1,162	182	159	231		2,215
内類焼									
林野焼損面積 (a)		13	1						14
内類焼									
り災世帯数		15		7	5	1	2		30
り災人員数		43		25	12	4	4		88
損害額 (千円)	建物	30,596		86,337	4,413	3,147	2,582		127,075
	内類焼	4							4
	林野	8							8
	内類焼								
	車両	1,273		131			35		1,439
	内類焼	450		125					575
	船舶								
	内類焼								
	その他	3,338				246			3,584
	内類焼	508				246			754
合計		35,215		86,468	4,413	3,393	2,617		132,106
内類焼		962		125		246			1,333
死者		3		2					5
負傷者		1		1	1				3
放水火災件数		18	1	11	2	1	2		35

火災件数



覚知別火災発生状況

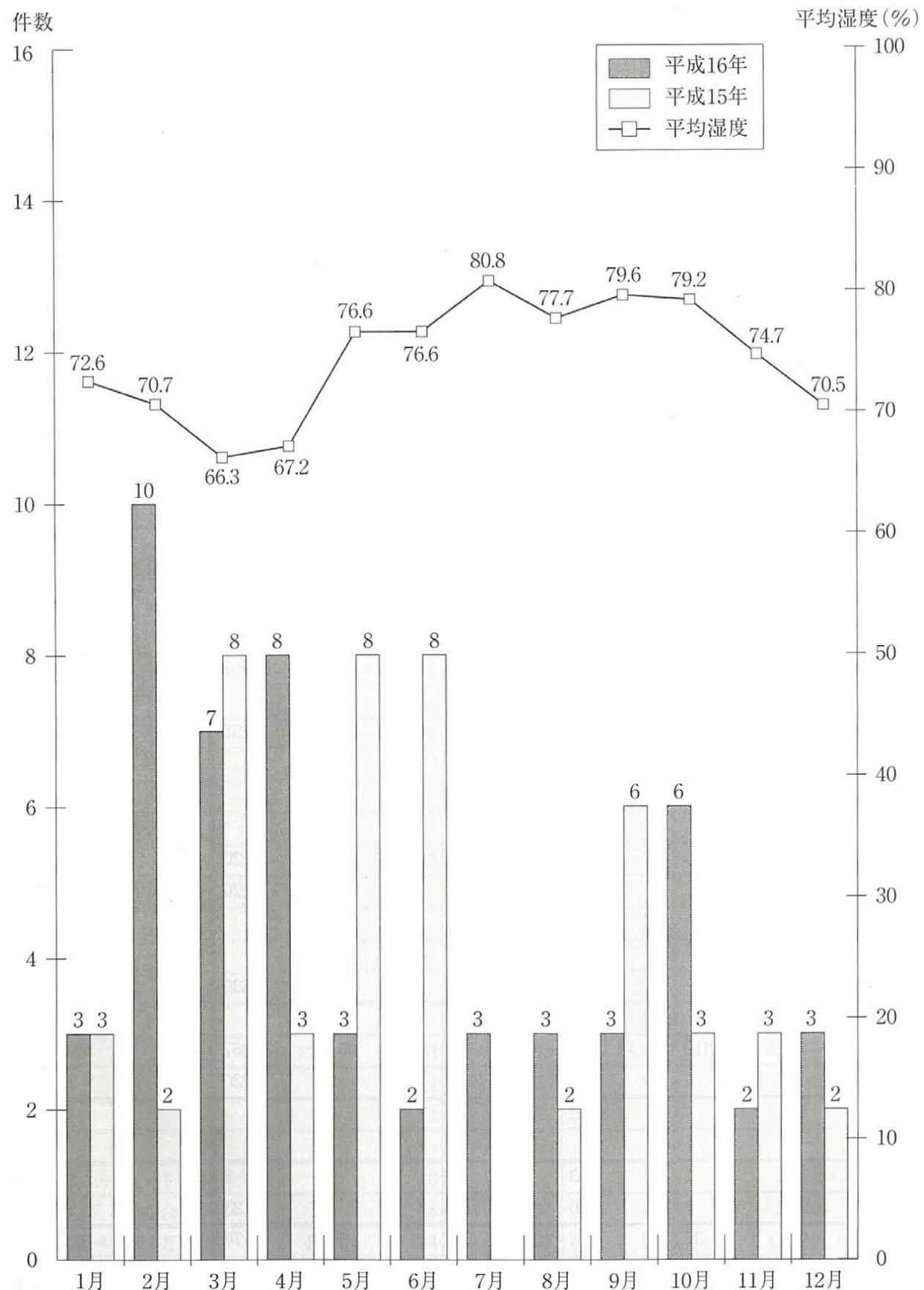


月別火災発生状況(月別)

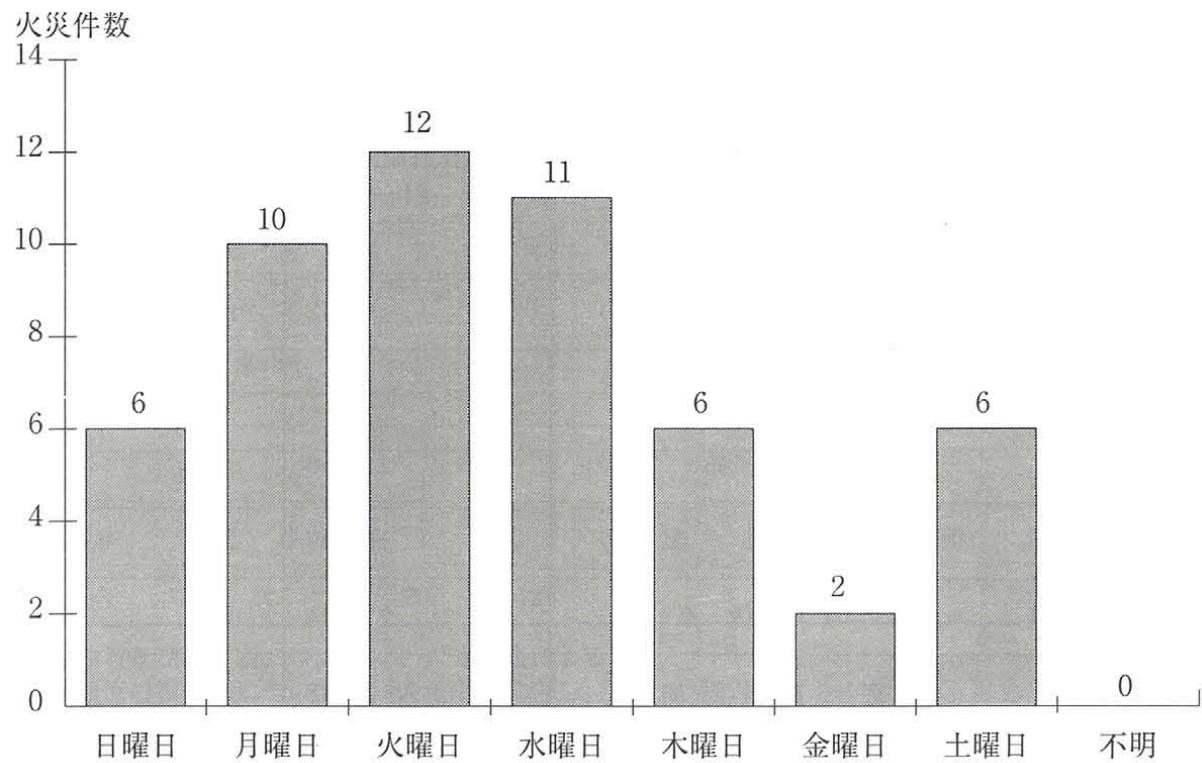
区分		月別		1月		2月		3月		4月		5月		6月		
火 災 件 数	建 物	全 焼	1	3	4	2	2	4	5	1	8	1	3	1	2	
		半 焼														
		部 分 焼	1													
		ぼ や	1													
火 災 件 数	林 業	林 野		3	10	3	7	8	1	1	1	1	1	2	2	
		車 両														
		船 舶														
		そ の 他														
火 災 件 数	棟 数	全 焼	1	3	5	4	7	10	2	13	1	1	1	2	3	
		半 焼														
		部 分 焼	1													
		ぼ や	1													
火 災 件 数	世 帯 数	全 損	1	2	3	1	2	5	5	13	1	1	1	1	3	
		半 損														
		小 損	1													
		建物焼損面積 (m ²)				177	5	808	547						231	
内類焼																
林野焼損面積 (a)								13								
内類焼																
火 災 件 数	建 物	建 物		2,376	1,929	513	109	65,971	7,278	5,004	12,995	5,004	35	1,964	618	
		内 類 焼														
		内 容 物														
		内 類 焼														
火 災 件 数	林 業	林 野						8								
		内 類 焼														
		車 両				703	125	125	125			35				
		内 類 焼														
火 災 件 数	世 帯 数	船 舶														
		内 類 焼														
		そ の 他				246	246	246	246							
		内 類 焼														
火 災 件 数	内 容 物	合 計		4,305		1,325	73,382	18,245	469	469	35	2,582				
		内 類 焼				4	125	125	125							
		内 類 焼														
		内 類 焼														
死 者															1	
負 傷 者			1								1					
放 水 火 災 件 数			2			8		7		5		2			1	
放 水 ポン プ 台 数			9			18		43		31		2			6	
出動延べ人員(吏員)			47			114		137		111		41			26	
出動延べ人員(団員)			120			360		469		472		73			120	

7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計		
				1		1		1		1		13		
	1		2		2		5		2		2	2	29	
1		1			1			1				8		
		1		1		3		3				7		
	1						6		2				5	
	1		1		1							7		
								1			1		21	
													19	
				1				1			3			
								1			2		5	
1		1	2			2		7		2		7	13	
		1		1				1					11	
							4						2	
1			2			1		1			1	4	17	
							7			237			2,215	
			3		81		119		7					14
	1													
7		104		1,140		7,871		54		14,962			107,957	
													4	
		200		41		643		41		3,255			19,118	
													8	
		6		120		230				220			1,439	
						230				220			575	
								508			2,830		3,584	
							508						754	
7		310		1,301		9,252		95		21,267			132,106	
						738				220			1,333	
1				2		1							5	
		1											3	
1		1		3		2				3			35	
2		1		10		10				23			155	
19		31		44		58		5		76			709	
90		82		135		173				200			2,294	

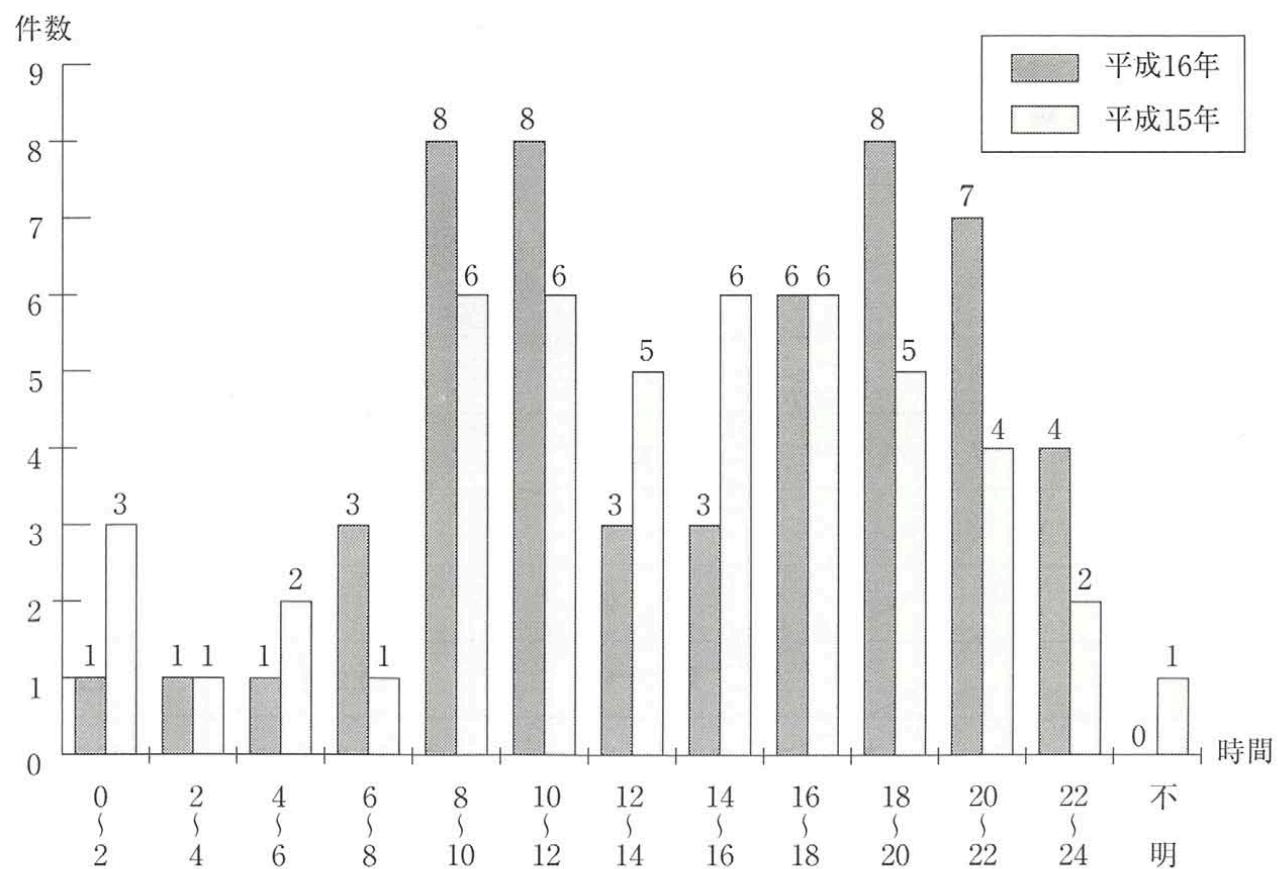
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



原因別火災発生状況・損害額

原 因	年 別 件数・損害額	平 成 1 6 年		平 成 1 5 年	
		件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
失 火	たき火・ゴミ焼き（飛び火、放置）	10	3,040	3	0
	たばこ（投げ捨て、放置）	6	32	9	22,155
	交通機関（衝突・配線・排気管）	4	713		
	取灰（不始末）	3	11,966		
	電気機器（器具・配線）	3	10,309	2	6,620
	ストーブ（取扱不良）	2	72,704	1	29
	煙突（貫通部加熱）	2	3,588		
	ボイラ（維持管理不良）	2	217		
	木材乾燥機	1	2,830		
	風呂かまど	1	2,582	2	161
	溶接機・溶断機	1	304	1	0
	業務用魚焼き機	1	279		
	ガスコンロ（放置・油に引火）	1	40	5	165
	火遊び	1	0	1	8,421
	焼却炉	1	0		
	携帯用ガスバーナー（過熱）			2	5,897
	火入れ			1	0
	その他			3	149
放火・放火の疑い		9	10,283	11	4,264
調査中		5	13,219	7	28,714
合 計		53	132,106	48	76,575

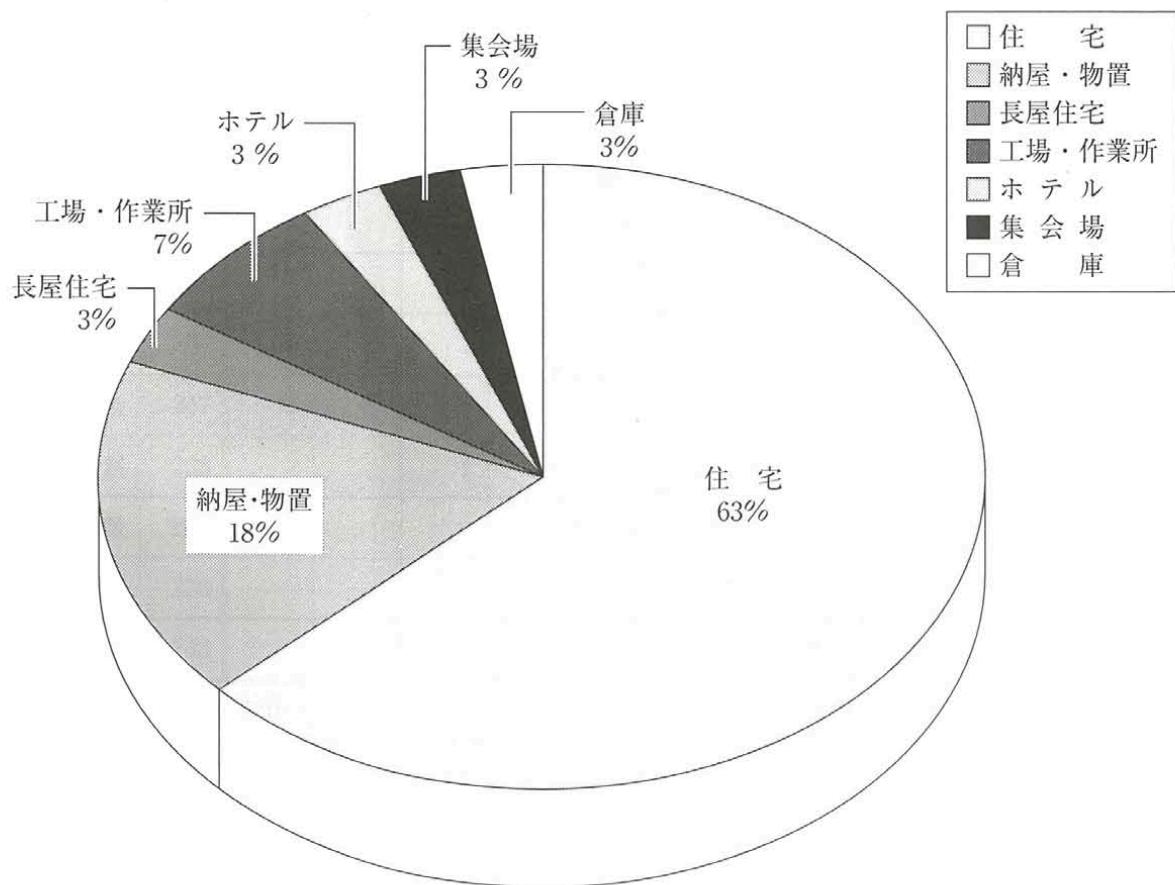
建物用途別火災発生状況（火元）

(平成16年)

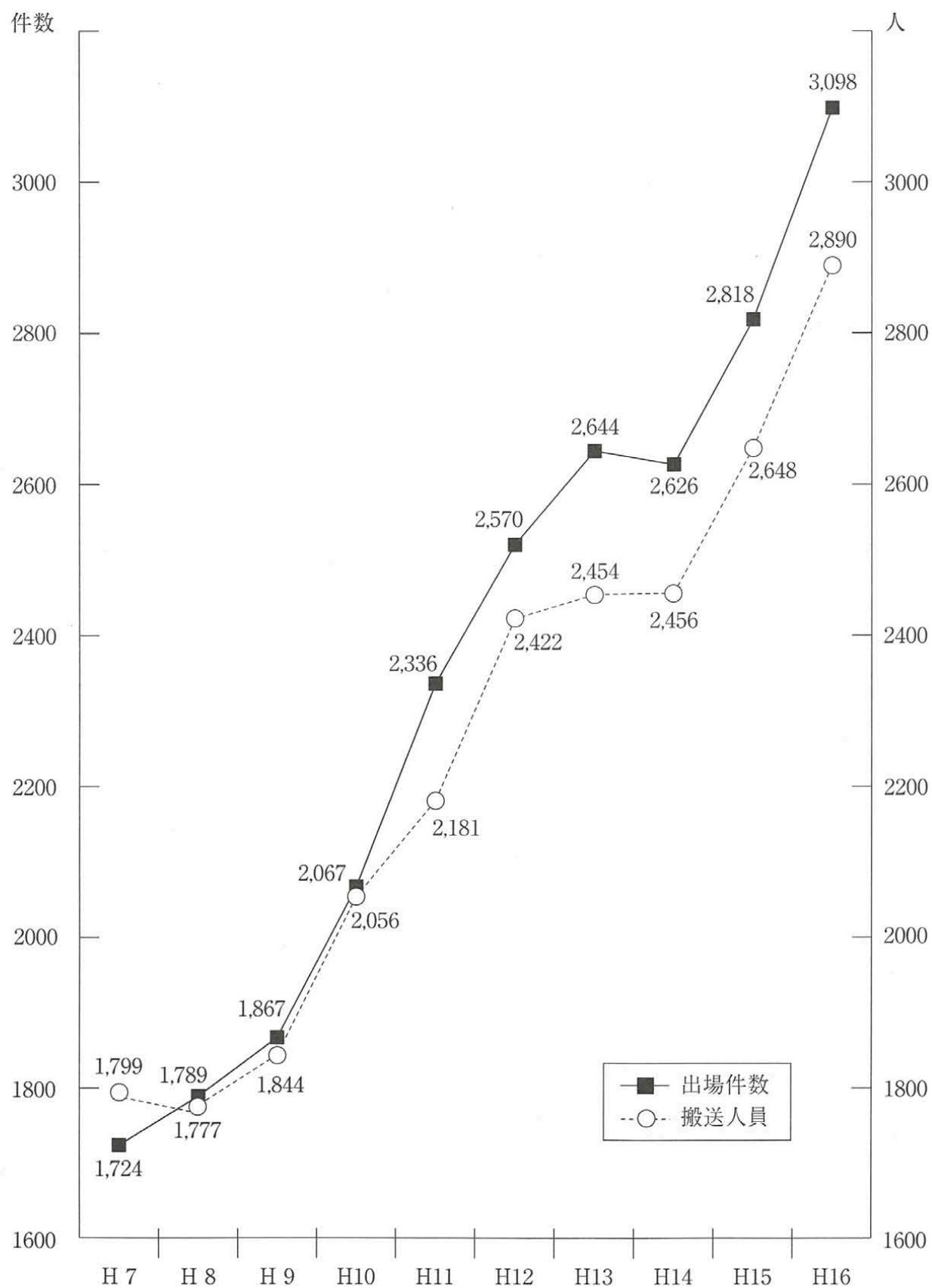
用途別 区分	出 火 件 数					焼損面積 (m ²)	損 害 額 (千円)
	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や		
住 宅	18	7	2	5	4	1,559	109,191
納 屋 ・ 物 置	5	4			1	575	17,291
長 屋 住 宅	1	1				81	1,181
工 場 ・ 作 業 所	2			1	1	0	673
ホ テ ル	1				1	0	40
集 会 場	1			1		0	17
倉 庫	1			1		0	7
合 計	29	12	2	8	7	2,215	128,400

*件数及び用途別については、火元用途による。

*類焼の損害額については、火元用途に含む。



救急活動の推移



出動件数・搬送人員

(平成16年)

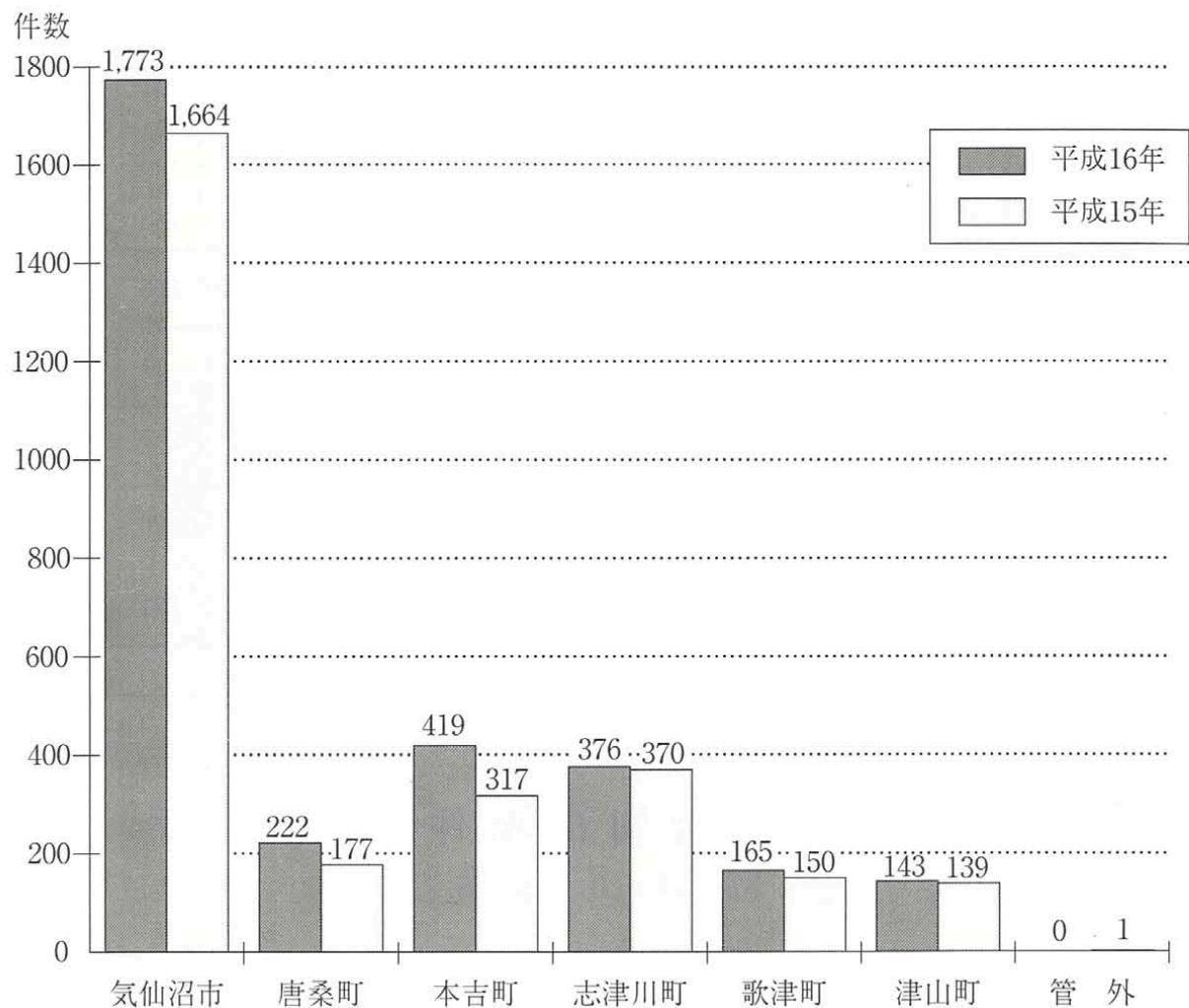
月 区分	事故種別 合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
1	出場件数	290	1		1	26	4	1	32	2	3	197	23
	搬送人員	267	1		1	31	3	1	28	2	1	176	23
2	出場件数	235				14	1		25	1	2	158	34
	搬送人員	225				21	1		22	1	1	145	34
3	出場件数	254				27	2		36			154	35
	搬送人員	252				41	2		31			143	35
4	出場件数	217				18			16	1	5	146	31
	搬送人員	206				22			13	1	3	137	30
5	出場件数	248				18	1	4	30	1	5	165	24
	搬送人員	226				19	1	4	28	1	5	144	24
6	出場件数	223				17	2	4	34	1	1	149	15
	搬送人員	203				23	2	4	30	1	1	127	15
7	出場件数	262	1		3	28	4	2	30	1	3	170	20
	搬送人員	250	1		2	34	4	2	29	1	3	154	20
8	出場件数	306	1		1	39	1	1	48	3	3	168	41
	搬送人員	294	1		1	50	1	1	41	3	2	154	40
9	出場件数	247	1		2	27	2	6	41	2	2	143	21
	搬送人員	228			1	34	2	6	32	2	1	129	21
10	出場件数	263				18	5	2	44	3	3	168	20
	搬送人員	238				22	5	2	38	3	2	147	19
11	出場件数	243				26	2	4	31		5	153	22
	搬送人員	218				25	2	4	27		3	135	22
12	出場件数	310			4	22	5	1	31	1	2	209	35
	搬送人員	283			2	21	5	1	29	1	1	189	34
合 計	出場件数	3,098	4		11	280	29	25	398	16	34	1,980	321
	搬送人員	2,890	3		7	343	28	25	348	16	23	1,780	317

市町別事故別活動状況

(平成16年)

事故種別 市町別			合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
気仙沼市	16年	出場件数	1,773	2		7	152	15	10	247	12	15	1,155	158
		搬送人員	1,563	1		4	181	14	10	201	12	10	976	154
	15年	出場件数	1,664	7	4	6	155	23	14	179	9	14	1,121	132
		搬送人員	1,489	6	5	6	172	20	14	157	9	9	968	123
唐桑町	16年	出場件数	222	1		2	23	2	1	26		3	133	31
		搬送人員	231	1		1	34	2	1	26		3	131	32
	15年	出場件数	177			1	24	3		26		4	105	14
		搬送人員	174			1	28	3		25		3	100	14
本吉町	16年	出場件数	419	1		2	44	5	2	54	2	6	262	41
		搬送人員	420	1		2	57	5	2	53	2	4	254	40
	15年	出場件数	317	1		3	40	4	2	36	1	6	199	25
		搬送人員	325	1		2	58	4	2	35	1	3	195	24
志津川町	16年	出場件数	376				38	2	3	31		6	232	64
		搬送人員	369				44	2	3	29		3	224	64
	15年	出場件数	370		1		31	3	4	53		3	204	71
		搬送人員	366		1		36	3	4	51		1	199	71
歌津町	16年	出場件数	165				13	2	4	29	2	3	110	2
		搬送人員	166				15	2	4	29	2	3	109	2
	15年	出場件数	150			1	17			20		1	108	3
		搬送人員	150			1	20			20		1	105	3
津山町	16年	出場件数	143				10	3	5	11		1	88	25
		搬送人員	141				12	3	5	10			86	25
	15年	出場件数	139				15	4	1	13			83	23
		搬送人員	143				19	4	1	13			83	23
管外	16年	出場件数												
		搬送人員												
	15年	出場件数	1										1	
		搬送人員	1										1	
合計	16年	出場件数	3,098	4		11	280	29	25	398	16	34	1,980	321
		搬送人員	2,890	3		7	343	28	25	348	16	23	1,780	317
	15年	出場件数	2,818	8	5	11	282	37	21	327	10	28	1,821	268
		搬送人員	2,648	7	6	10	333	34	21	301	10	17	1,651	258

市町別出場件数



○ 管内市町別出場件数

出場件数3,098件に占める各市町毎の割合

氣仙沼市	1,773件	(57.2%)
唐桑町	222件	(7.2%)
本吉町	419件	(13.5%)
志津川町	376件	(12.1%)
歌津町	165件	(5.3%)
津山町	143件	(4.6%)
管外	0件	(0.0%)

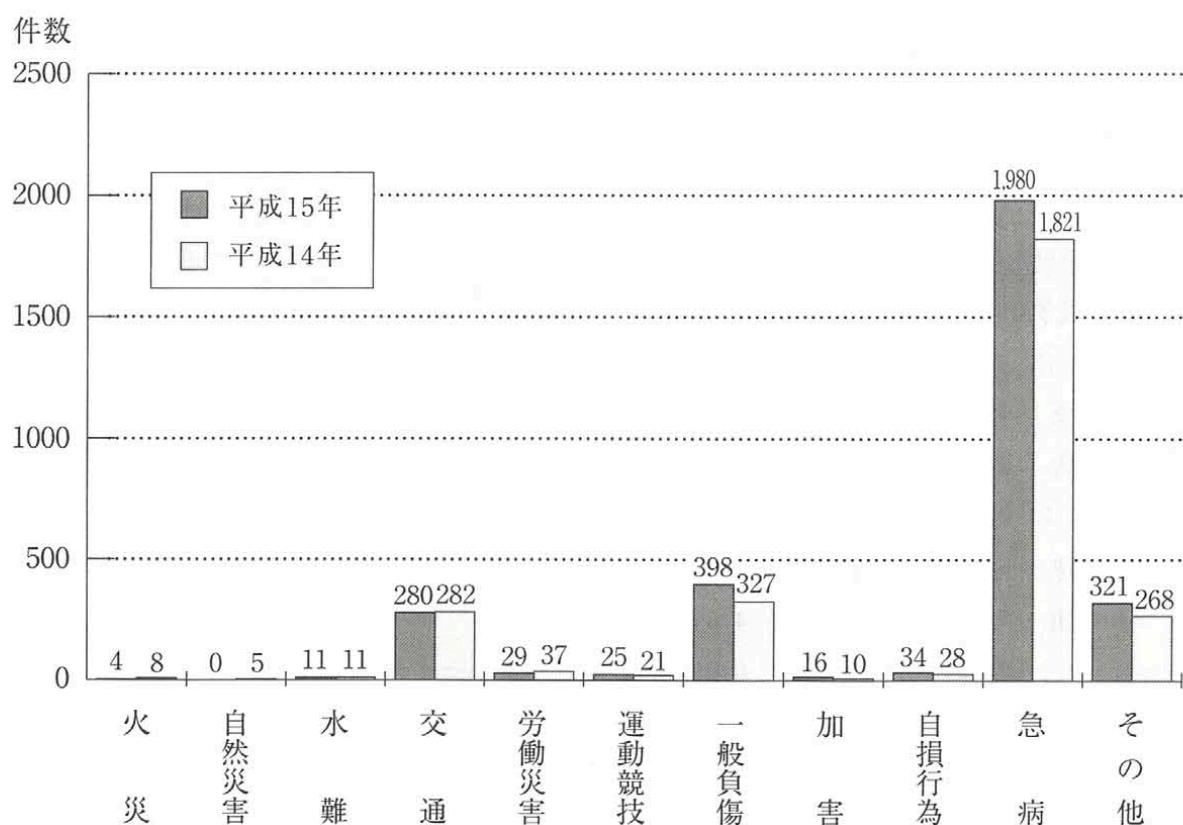
救急隊員が行った応急処置件数

(平成16年)

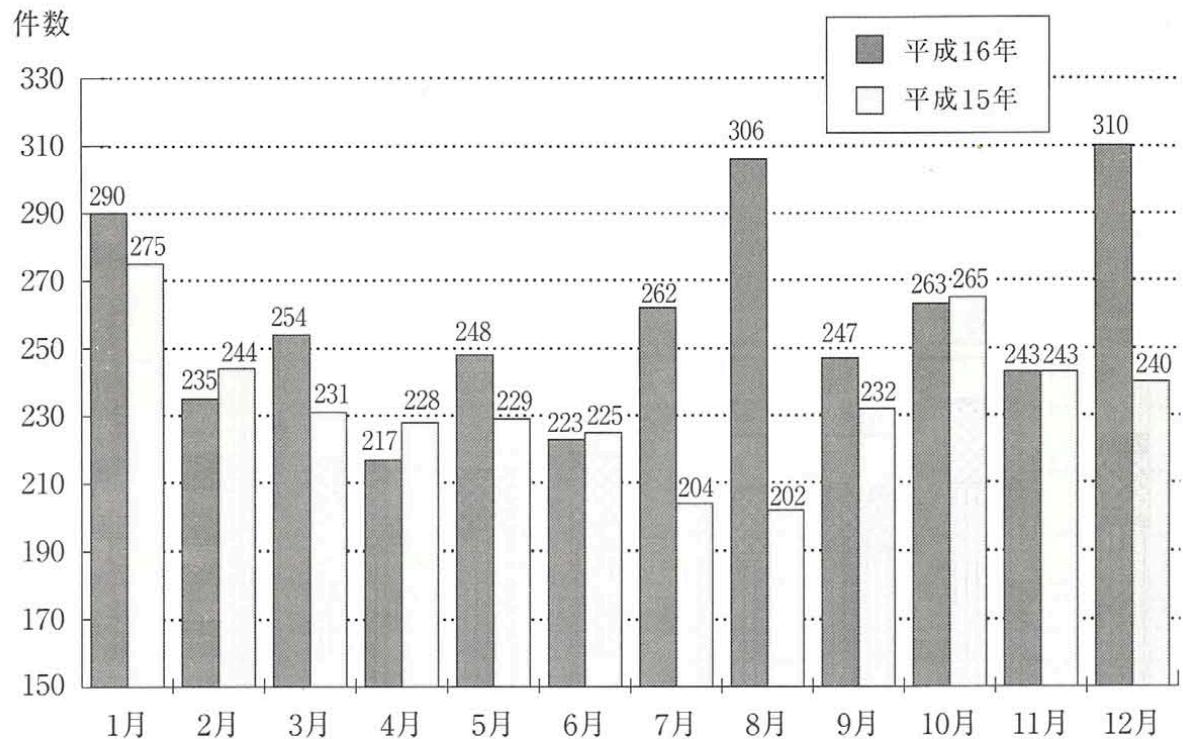
応急種別 ＼ 事故種別	応急処置対象人員	止	固	人	心	酸	気	保	被	除	血	聴	血	心	そ	合		
		血	定	工	肺	素	道	確		細	圧	診	中	電	の	計		
				呼	蘇	吸	生	入	保	温	覆	動	定	器	素	図	他	計
急 病	1,634	14	14	13	128	744	281	247	9	18	1,631	330	1,679	666	173	5,947		
交通事故	321	46	167		7	45	12	30	68		288	32	311	17	21	1,044		
一般負傷	292	61	80	2	11	44	21	36	70		309	20	321	28	31	1,034		
その 他	335	10	43	6	14	182	49	60	15	1	352	31	376	120	25	1,284		
合 計	2,582	131	304	21	160	1,015	363	373	162	19	2,580	413	2,687	831	250	9,309		

※応急処置は、症状により重複実施する場合がある。

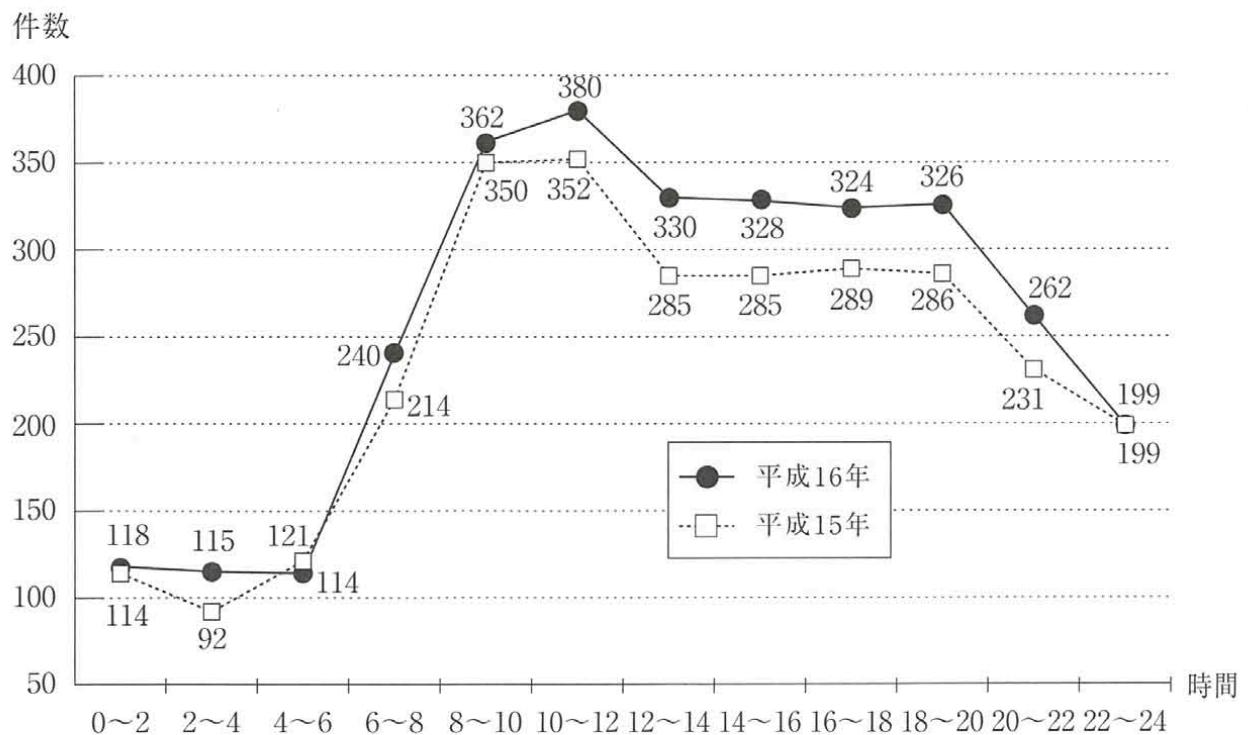
事 故 種 別 出 場 件 数



月 別 出 場 件 数



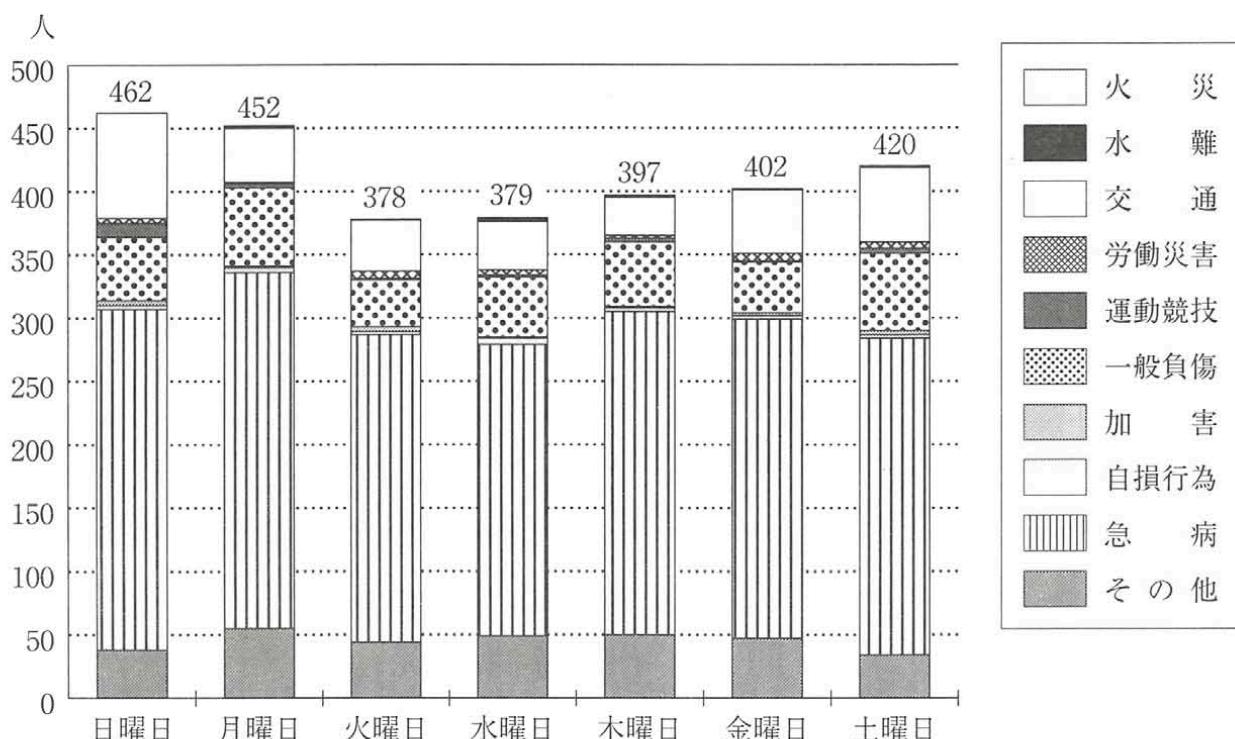
時 間 別 出 場 状 況



曜日別搬送人員

○ 曜日別搬送人員

曜日別搬送人員を比率で見ると、日曜日が一番多く16.0%、次いで月曜日15.6%、以下土曜日14.5%、金曜日13.9%、木曜日13.7%、水曜日13.1%、火曜日13.1%の順となっている。



曜日 事故種別	計	日	月	火	水	木	金	土
火災	3			1	1		1	
自然災害								
水難	7		2		2	2		1
交通	343	83	43	40	38	30	50	59
労働災害	28	4	1	6	4	2	6	5
運動競技	25	11	3	1	2	3	1	4
一般負傷	348	50	62	37	47	51	40	61
加害	16	4	1	4	1	1	2	3
自損行為	23	3	4	2	5	3	3	3
急病	1,780	269	281	243	230	255	252	250
その他	317	38	55	44	49	50	47	34
合計	2,890	462	452	378	379	397	402	420

傷病程度別搬送人員

○ 傷病程度別搬送人員

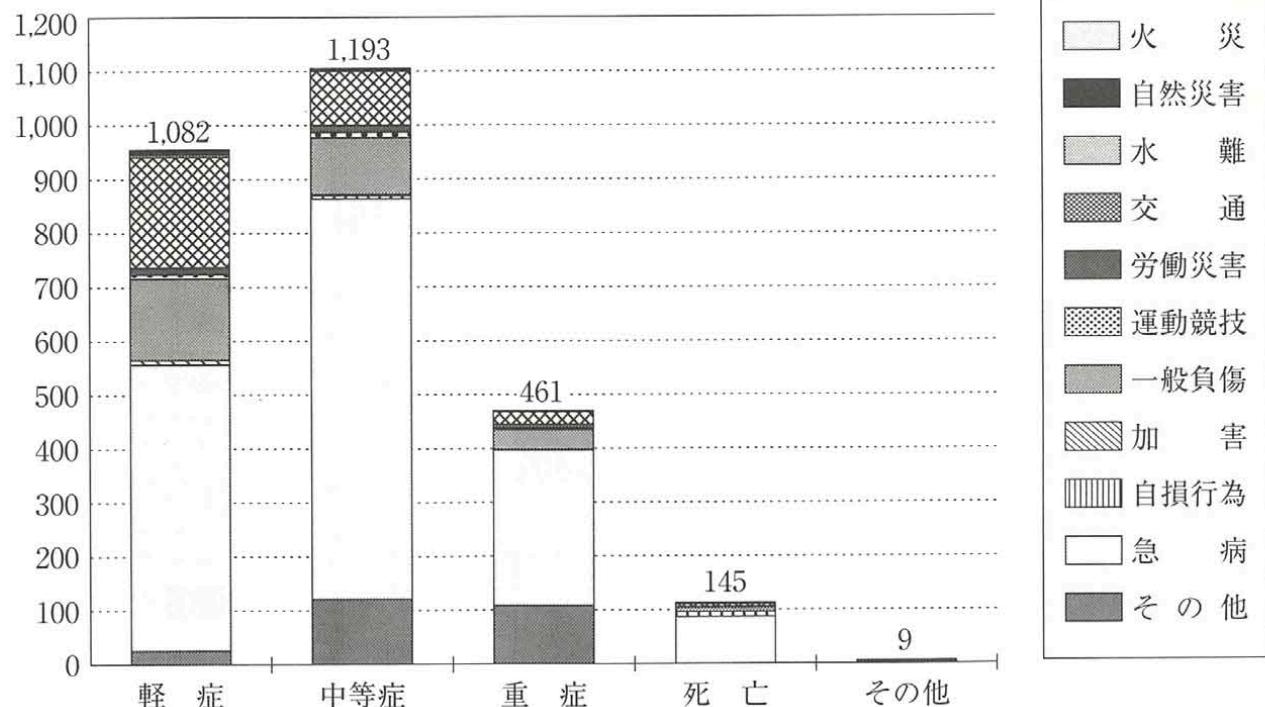
傷病者の傷病程度を見ると、

救急搬送人員2,890人のうち、中等症が一番多く	1,193人 (41.3%)
軽 症	1,082人 (37.4%)
重 症	461人 (16.0%)
死 亡	145人 (5.0%)
その他	9人 (0.3%)

の順になっている。

事故種別 ＼ 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
軽 症	2			233	9	18	187	8	8	592	25	1,082
中 等 症			3	84	12	7	114	7	2	802	162	1,193
重 症				17	7		38		4	273	122	461
死 亡			4	9			9	1	9	112	1	145
その 他	1									1	7	9
合 計	3		7	343	28	25	348	16	23	1,780	317	2,890

事故種別：人



年齢別搬送人員

○ 年齢別搬送人員

搬送人員2,890人のうち、

新生児(生後28日以内) 8人(0.3%) 乳幼児(生後29日~7才未満) 127人(4.4%)

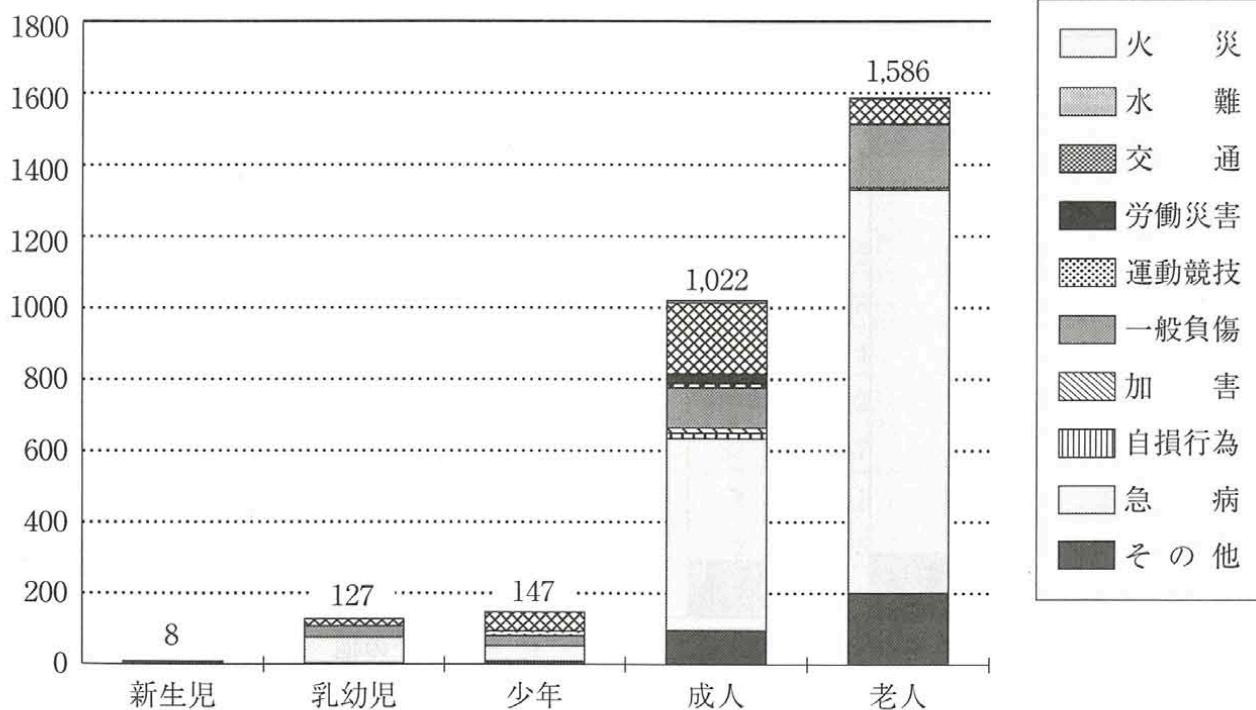
少 年(7才~18才未満) 147人(5.1%) 成 人(18才~65才未満) 1,022人(35.4%)

老 人(65才以上) 1,586人(54.9%)

をそれぞれ搬送した。

事故種別 年齢別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
合 計	3		7	343	28	25	348	16	23	1,780	317	2,890
新 生 児 (生後28日以内)											8	8
乳 幼 児 (生後29日~7才未満)				20			31			73	3	127
少 年 (7才~18才未満)				54		13	28		1	42	9	147
成 人 (18才~65才未満)	2		6	199	26	12	113	14	16	539	95	1,022
老 人 (65才以上)	4		1	70	2		176	2	6	1,126	202	1,586

事故種別：人



医療機関別搬送人員

(平成16年)

告示別	開設者別	事故種別		急 病		交 通		一般負傷		その 他		計	
				うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
救急告示医療機関	国 立	1	1							8	8	9	9
	公 立	1,516	60	276	8	291	5	333	35	2,416	108		
	公 的	14	14	1	1					19	19	34	34
	私 病院	20	12	59	2	40				31	21	150	35
	的 診療所												
計		1,551	87	336	11	331	5	391	83	2,609	186		
その他の医療機関	国 立												
	公 立	94	11	1	1	4				11	6	110	18
	公 的												
	私 病院	87	3			1				7	1	95	4
	的 診療所	48	2	6	1	12	1	2	1	1	68	5	
計		229	16	7	2	17	1	20	8	273	27		
計	国 立	1	1							8	8	9	9
	公 立	1,610	71	277	9	295	5	344	41	2,526	126		
	公 的	14	14	1	1					19	19	34	34
	私 病院	107	15	59	2	41				38	22	245	39
	的 診療所	48	2	6	1	12	1	2	1	1	68	5	
計		1,780	103	343	13	348	6	411	91	2,882	213		
その他の場所	接骨院他												
	その 他									8	4	8	4
	計									8	4	8	4
合 计		1,780	103	343	13	348	6	419	95	2,890	217		

不搬送等状況

不搬送理由	件数
合計	306
緊急性なし	6
傷病者なし	4
拒否	46
酩酊	6
死亡	31
現場処置	
誤報・いたずら	
その他	213

診療科目別搬送人員

診療科目別	搬送人員
合計	2,890
内科	1,302
外科	294
整形外科	455
脳内・外科	356
産婦人科	20
小児科	94
眼科	6
耳鼻咽喉科	16
精神神経科	21
皮膚泌尿器科	50
循環器科	254
その他の科	14
その他の場所	8

転送回数別搬送人員

転送回数	搬送人員
合計	2,890
0回	2,858
1回	31
2回以上	1

普通救命講習受講者状況

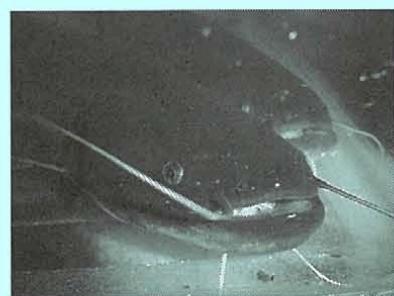
内訳 年	婦人防火クラブ	危険物安全管理協会	消防団	高校生	左記以外	合計
平成16年	78	43	59	545	1,070	1,795
平成15年	33	32	92	285	564	1,006
平成14年	161	59	28	130	573	951
平成13年	1	234	24	2	343	604

覚知別出場件数

覚知別	出場件数
合計	3,098
119番	2,641
警察電話	28
加入電話	353
駆け込み	59
その他	17

- 救急出場件数3,098件中、転院搬送は313件(10.1%)であった。
- 医療機関への搬送人員2,890人中、2,387件(82.6%)は消防機関が病院選定を行った。

防災センター



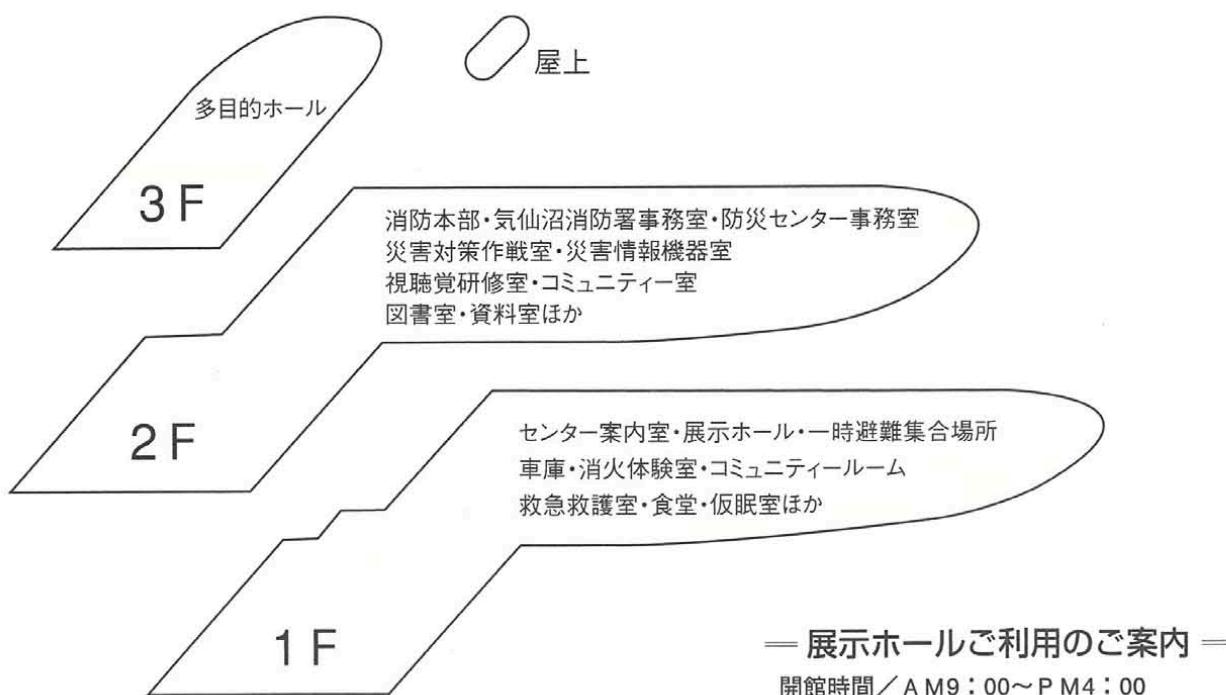
防災センター見学「鮭・ナマズ」

防災センターの概要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

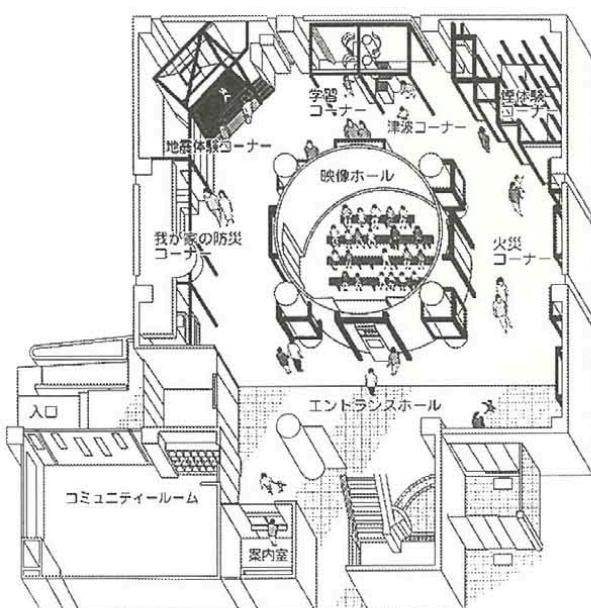
平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市4町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行う一方、一次避難場所等としても利用されます。



—展示ホールご利用のご案内—

開館時間／AM9:00～PM4:00
休館日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



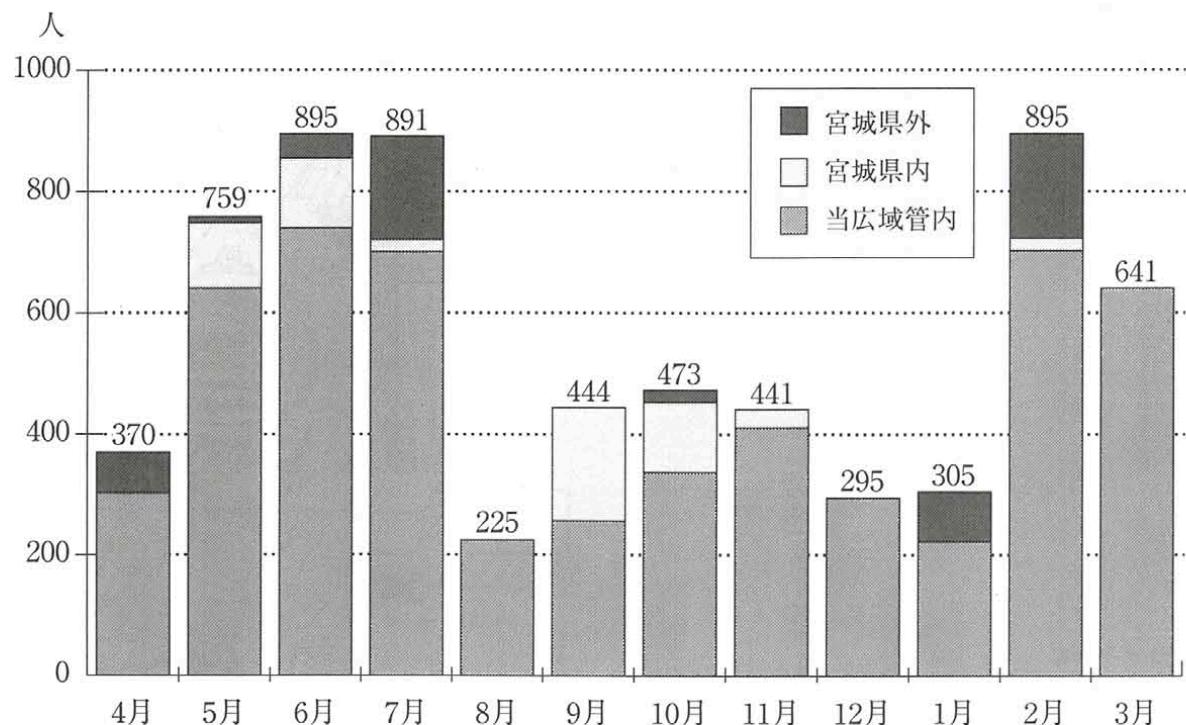
■センター概要

- 敷地面積／6,225.02m² 延床面積／2,730.52m²
(他に、備蓄倉庫／299.95m²、訓練塔／299.75m²)

月・地域別利用状況

(平成16年度) (単位:人)

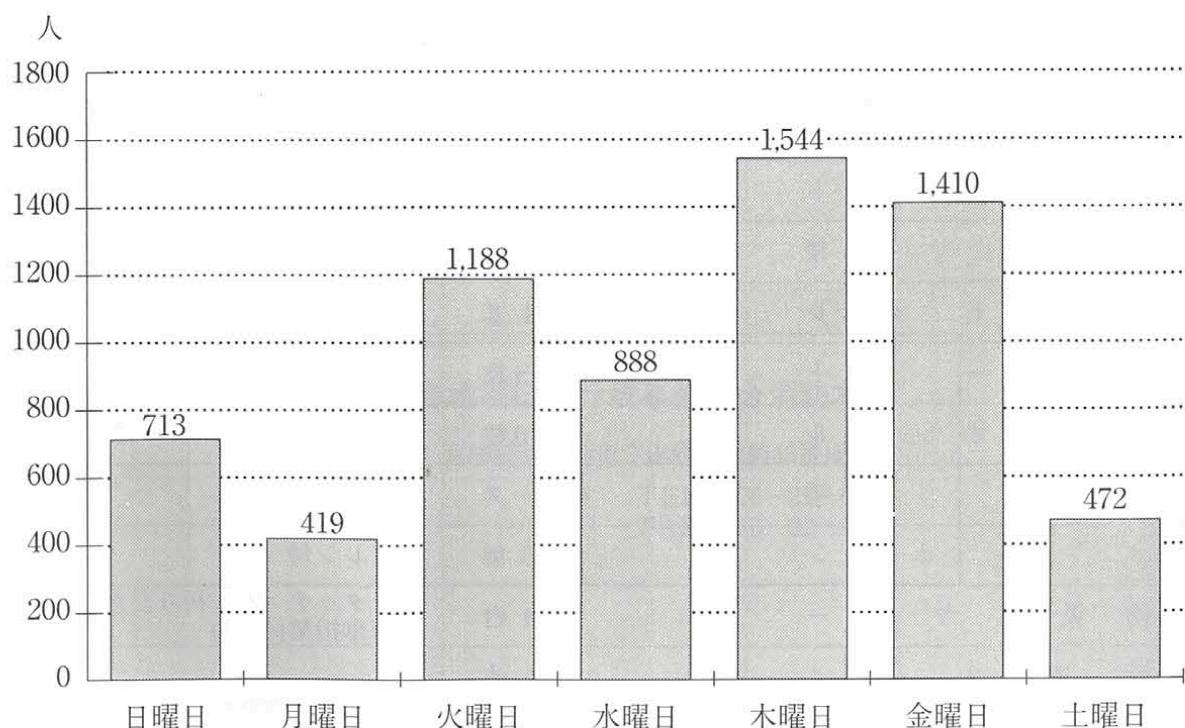
	当広域管内	宮城県内	宮城県外	合計
4月	303	0	67	370
5月	641	108	10	759
6月	740	115	40	895
7月	701	20	170	891
8月	225	0	0	225
9月	257	187	0	444
10月	337	116	20	473
11月	411	30	0	441
12月	295	0	0	295
1月	223	0	82	305
2月	703	20	172	895
3月	641	0	0	641
合計	5,477	596	561	6,634
15年度計	9,571	321	638	10,530
前年度比較	△ 4,094	275	△ 77	△ 3,896
開館以来累計	94,455	7,700	10,949	113,104



月・曜日別利用状況

(平成16年度) (単位:人)

	日	月	火	水	木	金	土	合計
4月	0	0	116	15	104	124	11	370
5月	90	62	54	122	190	223	18	759
6月	46	46	179	149	97	193	185	895
7月	67	129	173	136	152	187	47	891
8月	10	125	23	42	25	0	0	225
9月	17	0	64	70	185	65	43	444
10月	16	0	0	86	133	225	13	473
11月	0	7	100	93	110	110	21	441
12月	150	0	50	0	85	10	0	295
1月	35	0	73	14	32	132	19	305
2月	32	50	220	51	321	106	115	895
3月	250	0	136	110	110	35	0	641
合計	713	419	1,188	888	1,544	1,410	472	6,634
15年度計	832	455	1,026	1,385	1,622	1,128	191	6,639
前年度比較	△ 119	△ 36	162	△ 497	△ 78	282	281	△ 5
開館以来累計	16,668	10,259	16,698	20,099	20,857	20,447	8,076	113,104



利 用 者 別 状 況

(平成16年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	0	0
少 年 消 防 ク ラ ブ	3	225
婦 人 防 火 ク ラ ブ	7	247
危険物安全協会・防火管理者協会	5	116
消 防 団	4	235
行 政 機 関	76	2,009
自 治 会 ・ 上 記 以 外 の 団 体	18	331
救 急 救 命 指 導 講 習	16	584
土 記 以 外	—	2,887
合 計	129	6,634

主 な 備 蓄 品

(平成17年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	230枚	
布 団	25組	
ポ リ 容 器	100組	
非 常 食	9,048食	乾燥餅(5,400)、乾パン(3,648)
応 急 処 置 セ ッ ト	6 セット	
担 架	7 台	
防 災 ト イ レ	1 基	
シ 一 ト	45枚	大(10m×10m)15、中30
タ オ ル	200枚	
軍 手	6 ダース	
メ ガ ホ ン	5 個	サイレン付
防 災 リ ャ カ ー	4 台	ワンタッチ(2)、折りたたみ(1) 救護車担架付(1)
災 害 ツ 一 ル	1 式	

※ 備蓄品については、年次計画により購入。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104 宮城県気仙沼市字赤岩五駄鱈43番地の2

TEL 0226-22-6688
FAX 0226-22-0119

